

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-6

< 第13週 >

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は3週連続で減少したが、過去5年間の同時期と比較してやや多い / その他最新動向



注目すべき感染症

< 今週は該当記事はありません >



病原体情報

< 今週はお休みです >



速報
P.7-8

国内インフルエンザ流行株の抗原性解析および薬剤耐性株の検出状況(途中経過)



海外感染症情報
P.9-16

インフルエンザ / 中国でインフルエンザA(H7N9)の患者が発生しました



感染症の話
P.17

< 今週はお休みです >



読者のコーナー
< 今週は該当記事はありません >



グラフ総覧(13週)
P.18-23



13週のデータ
P.24-37



発生動向総覧

< 第13週コメント > 4月3日集計分

全数報告の感染症

注意: これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が集計の期日以降に届くこともあります。それらについては一部を除いて発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。

感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを示します。

1類感染症

報告なし

2類感染症

結核362例

3類感染症

腸管出血性大腸菌感染症15例(有症者10例、うちHUS なし)

感染地域: 国内14例、トルコ1例

国内の感染地域: 青森県6例*#、愛知県2例、茨城県1例、長野県1例、岐阜県1例、岡山県1例、山口県1例、不明1例

* 第12週から報告されている飲食店における食中毒(O157 VT2) を含む

焼肉店における食中毒(O157 VT1・VT2) を含む

年齢群: 1歳(1例)、2歳(1例)、8歳(1例)、10代(3例)、20代(4例)、30代(1例)、50代(2例)、60代(2例)

血清型・毒素型: O157 VT1・VT2(5例)、O157 VT2(4例)、O121 VT2(2例)、O146 VT2(2例)、O26 VT1(1例)、O26 VT2(1例)

累積報告数: 159例(有症者107例、うちHUS 7例、死亡なし)

腸チフス3例

感染地域: ネパール2例、インド1例

パラチフス3例

感染地域: 国内(都道府県不明)1例、インドネシア1例、インド1例

4類感染症

E型肝炎2例

感染地域: 熊本県1例__感染源: シカ/イノシシ

感染地域: 国内(都道府県不明)1例__感染源: 不明

A型肝炎2例

感染地域: 島根県1例、国内(都道府県不明)1例

デング熱4例

感染地域: インドネシア3例、ミャンマー1例

マラリア1例

三日熱__感染地域: エチオピア

レジオネラ症11例(肺炎型9例、ポンティアック型2例)

感染地域: 千葉県2例、石川県1例、静岡県1例、三重県1例(温泉)、滋賀県1例(温泉)、大阪府1例、兵庫県1例、愛媛県1例、熊本県1例(温泉)、宮崎県1例(温泉)

年齢群: 30代(1例)、60代(6例)、70代(2例)、80代(1例)、90代(1例)

5類感染症

アメーバ赤痢9例(腸管アメーバ症9例)

感染地域: 埼玉県2例、東京都2例、千葉県1例、愛知県1例、福岡県1例、国内(都道府県不明)1例、インドネシア1例

感染経路: 経口感染2例、性的接触3例(異性間2例、同性間1例)、不明4例

急性脳炎1例 病原体不明_年齢群: 8歳

クロイツフェルト・ヤコブ病3例

孤発性プリオン病古典型3例

後天性免疫不全症候群16例(AIDS 4例、無症候10例、その他2例)

感染地域: 国内11例、国内/ベトナム1例、不明4例

感染経路: 性的接触13例(異性間3例、同性間10例)、不明3例

梅毒16例(早期顕症I期1例、早期顕症II期6例、無症候9例)

破傷風3例 年齢群: 60代(1例)、70代(1例)、80代(1例)

風しん375例(検査診断例278例、臨床診断例97例)

感染地域: 東京都95例、兵庫県36例、神奈川県35例、大阪府31例、千葉県23例、埼玉県16例、鹿児島県12例、愛知県10例、福岡県6例、広島県5例、宮城県3例、静岡県3例、熊本県3例、北海道2例、群馬県2例、長野県2例、京都府2例、石川県1例、山梨県1例、滋賀県1例、徳島県1例、香川県1例、愛媛県1例、宮崎県1例、国内(都道府県不明)79例、インドネシア1例、タイ1例、マレーシア1例

年齢群: 0歳(2例)、1歳(3例)、2歳(1例)、4歳(1例)、5~9歳(4例)、10~14歳(5例)、15~19歳(24例)、20~24歳(47例)、25~29歳(54例)、30~34歳(62例)、35~39歳(63例)、40代(75例)、50代(31例)、60代(3例)

累積報告数: 2,903例(検査診断例2,205例、臨床診断例698例)

麻しん15例(麻しん(検査診断例3例、臨床診断例4例)、修飾麻しん(検査診断例8例))

感染地域: 埼玉県3例、神奈川県2例、三重県2例、千葉県1例、東京都1例、大阪府1例、国内(都道府県不明)5例

年齢群: 0歳(1例)、1歳(3例)、15~19歳(3例)、20~24歳(3例)、30~34歳(2例)、35~39歳(1例)、40代(2例)

累積報告数: 85例(麻しん(検査診断例28例、臨床診断例39例)、修飾麻しん(検査診断例18例))

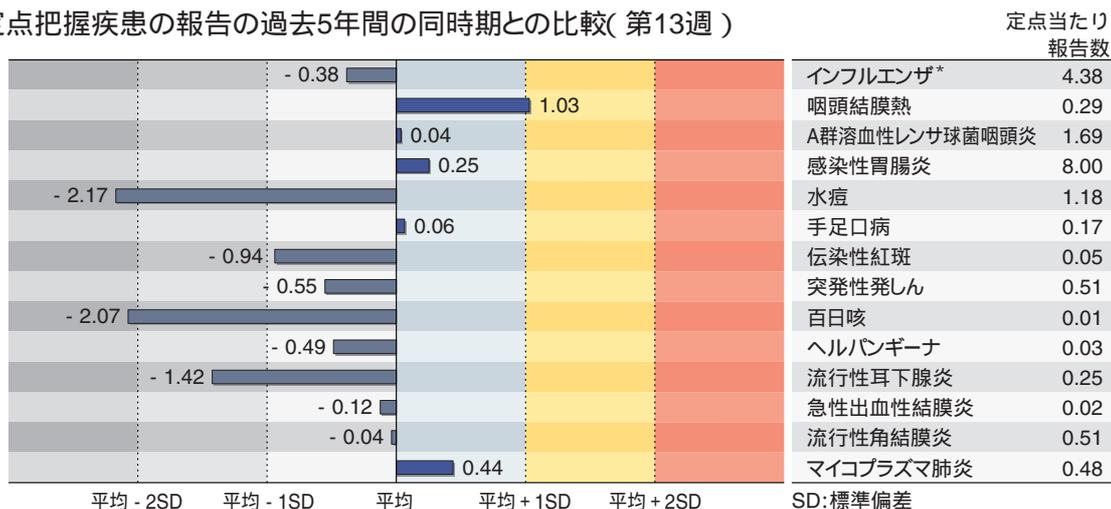
(補)他にデング熱1例の報告があったが削除予定。また、2012年第13週から2013年第12週までに診断されたものの報告遅れとして、細菌性赤痢1例(菌種: *S. flexneri*(B群))、感染地域: 京都府)、E型肝炎1例(感染地域: 国内(都道府県不明))、感染源: 豚肉)、エキノコックス症1例(多包条虫)、感染地域: 北海道)、重症熱性血小板減少症候群1例(感染地域: 愛媛県(2012年発症))、年齢群: 60代)、つつが虫病1例(感染地域: 静岡県)、デング熱1例(感染地域: インドネシア)、日本紅斑熱1例(感染地域: 三重県)、レジオネラ症1例(感染地域: 福岡県)、アメーバ赤痢5例(腸管アメーバ症5例)、感染地域: 東京都2例、静岡県1例、国内(都道府県不明)1例、アラブ首長国連邦/シンガポール1例)、ウイルス性肝炎1例(B型

肝炎__感染経路: 性的接触(異性間)、急性脳炎5例〔インフルエンザウイルスA型1例__年齢群: 10歳 . ロタウイルス1例__年齢群: 1歳 . 病原体不明3例__年齢群: 0歳(1例)、1歳(1例)、10歳(1例)〕、劇症型溶血性レンサ球菌感染症2例〔60代(1例)、80代(1例)〕などの報告があった。

定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

定点把握疾患の報告の過去5年間の同時期との比較(第13週)



当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)との差をグラフ上に表現した。(* 2009年のパンデミックの影響を受けています。)

インフルエンザ

定点当たり報告数は第5週以降減少が続いている。都道府県別では石川県(13.40)、宮崎県(11.53)、愛知県(11.13)、山口県(10.74)、三重県(10.60)が多い。

小児科定点報告疾患

RSウイルス感染症の報告数は741例と第9週以降減少が続いている。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約79%を占めている。

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は3週連続で減少したが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別では佐賀県(0.83)、宮崎県(0.78)、大分県(0.75)が多い。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別では石川県(4.93)、富山県(4.10)、福井県(4.09)が多い。

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別では大分県(15.69)、島根県(14.09)、福井県(12.73)が多い。

水痘の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別では宮崎県(3.56)、山口県(2.60)、佐賀県(2.43)が多い。

手足口病の定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別では沖縄県(1.35)、福岡県(1.03)、島根県(0.78)が多い。

伝染性紅斑の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では新潟県(0.32)、富山県(0.24)、岩手県(0.18)が多い。

百日咳の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別では新潟県(0.08)、大分県(0.08)、高知県(0.07)が多い。

ヘルパンギーナの定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別では長崎県(0.52)、佐賀県(0.26)、山口県(0.09)、沖縄県(0.09)が多い。

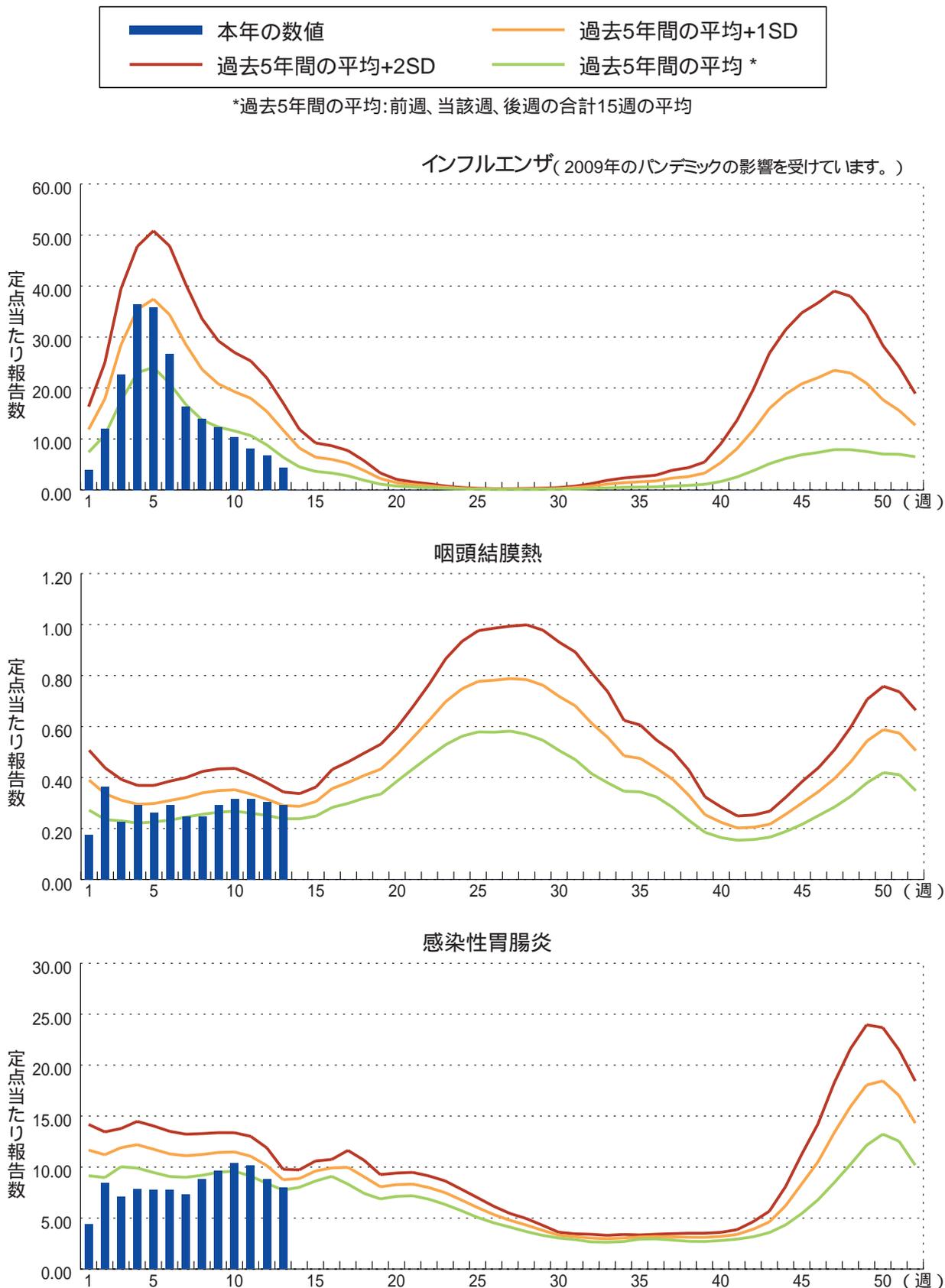
流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別では福井県(1.55)、佐賀県(0.96)、秋田県(0.94)が多い。

基幹定点報告疾患

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では青森県(2.00)、富山県(1.80)、佐賀県(1.33)が多い。

図. 主要定点把握疾患の過去5年間との週別比較(2013年第13週)

青のバーで示す本年の定点当たり報告数が赤のラインを超えているときには、過去5年間の週と比較してかなり多いことを示す。





国内インフルエンザ流行株の抗原性解析および薬剤耐性株の検出状況 (途中経過)

国内におけるインフルエンザウイルスの流行は、現時点(2013年3月29日)ではまだ終息していないが、これまでに明らかになった流行株の抗原性および薬剤耐性株の検出状況について、途中経過を報告する。

1. 流行の概要

2012/13インフルエンザシーズンは、国内ではA(H3N2)ウイルスが流行の主流である。2013年3月29日時点の総分離・検出数4,533株における型 / 亜型分離・検出比は、AH1pdm09亜型が2%(93株)、AH3亜型が85%(3,861株)、B型が13%(579株)であった。B型はYamagata系統とVictoria系統の2系統があるが、今シーズンも両系統の混合流行で、その割合は3:2で、山形系統による流行がやや優位であった。

2. 流行株の抗原性について

1) インフルエンザワクチンは発育鶏卵で分離培養されたウイルス株を元に製造される。しかし、近年のA(H3N2)およびB型ウイルスは、発育鶏卵で分離培養すると抗原部位および糖鎖付加部位にアミノ酸置換が起こり、ヒトの臨床検体中に存在したウイルスとは顕著に抗原性が変化する傾向がある(IASR 33: 297-300, 2012参照)。それに対して、イヌ腎上皮細胞由来のMDCK細胞による分離培養では、ウイルスが抗原性の変化を起こす頻度は少なく、ヒトの臨床検体中のウイルスの抗原性を維持する。そこで、国立感染症研究所(感染研)では流行株の抗原性をより正確に評価するために、MDCK細胞分離株に対するフェレット感染血清を主に用いて抗原性解析を実施している。

2) 2012/13シーズンに全国の地方衛生研究所(地研)で分離されたウイルス株は、各地研において、感染研からシーズン前に配布された同定用キット[A/California/7/2009(H1N1)pdm09、A/Victoria/361/2011(H3N2)、B/Wisconsin/1/2010(Yamagata系統)、B/Brisbane/60/2008(Victoria系統)]を用いた赤血球凝集抑制(HI)試験によって、型・亜型・B型の系統の同定が行われ、感染症サーベイランスシステム(NESID)にそれらの情報が登録された。感染研では、NESID経由でこれら国内分離株の情報を収集し、地研で分離・同定されたウイルスの中からAH1pdm09: 100%(54株)、AH3: 10%(225株)、B Yamagata系統: 50%(126株)、B Victoria系統: 50%(84株)について地研から分与を受けた。それら分離株の抗原性状をワクチン株に対するフェレット感染血清を用いたHI試験により解析した。

現時点までに解析した流行株は、2012/13シーズンのワクチン株であるA/California/7/2009(H1N1)pdm09、A/Victoria/361/2011(H3N2)、B/Wisconsin/1/2010(Yamagata系統)に抗原性が類似した株が、それぞれ95%、98%、100%を占め、いずれの型・亜型においてもワクチン類似株が流行の主流であった。一方、B型Victoria系統については、解析した流行株の100%が2011/12シーズンに使われたワクチン株B/Brisbane/60/2008に抗原性が類似していた。

3. 薬剤耐性株の検出状況

国内で分離されたA(H1N1)pdm09ウイルス44株、A(H3N2)ウイルス133株、B型ウイルス58株

についてオセルタミビル(商品名タミフル)、ペラミビル(商品名ラピアクタ)、ザナミビル(商品名リレンザ)およびラニナミビル(商品名イナビル)に対する感受性試験を行った。その結果、オセルタミビルおよびペラミビルに対して交叉耐性を示すA(H1N1)pdm09ウイルスが2株検出された。これら2株は、ザナミビルおよびラニナミビルに対しては感受性を保持していた。また、薬剤耐性株の地域への拡がりは確認されていない。

以上の結果から、現時点(2013年3月29日)では、感染研インフルエンザウイルス研究センターが解析した今シーズンの流行株の大半は、A型、B型ともワクチン株と抗原性がよく一致していたことが示された。

国立感染症研究所インフルエンザウイルス研究センター第1室・WHOインフルエンザ協力センター

岸田典子 徐 紅 高下恵美 藤崎誠一郎 今井正樹 伊東玲子 佐藤 彩
土井輝子 江島美穂 金 南希 菅原裕美 小田切孝人 田代真人
地方衛生研究所インフルエンザ株サーベイランスグループ

(IASR 2013年5月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)



海外感染症情報

*関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ(<http://www.forth.go.jp/>)をご覧ください。

インフルエンザ - 更新182

2013年4月2日 WHO

【要約】

- ・北米のインフルエンザの活動性は、依然として高い地域もありますが、全体的には減少し続けています。北米では、今シーズンはインフルエンザA(H3N2)が最も多く検出されていますが、インフルエンザB型の占める割合が増加しました。米国では、肺炎とインフルエンザによる死亡者数が示すように、2003年から2004年のシーズン以降で最も影響の大きいシーズンとなりましたが、その影響は65歳以上の集団で最も大きくなっています。
- ・ヨーロッパ西部のインフルエンザの活動性は減少し続けていますが、東部では高い状態が続いています。検出されるウイルスの型・亜型は地域によって差があります。北米とは異なり、インフルエンザA(H3N2)、インフルエンザA(H1N1)pdm09、インフルエンザB型が検出されています。北部と西部では主にインフルエンザB型が検出されており、東部と中部ではインフルエンザA型が検出されています。ほとんどの国の超過死亡は中等度で、死亡のほとんどが65歳以上で発生しています。
- ・アジアの温帯地域の全域で、インフルエンザの活動性は減少しましたが、モンゴルでは依然として活動性が高いものの、季節性インフルエンザの許容範囲内の水準です。
- ・熱帯地域のインフルエンザの活動性は低い水準であり、南半球のインフルエンザの活動性は、依然としてシーズンオフの水準です。
- ・検査を実施している国で、ノイラミニダーゼに耐性を有するウイルスが少数検出されています。解析されたインフルエンザウイルスの大部分は今シーズンに北半球で使用されているワクチン株に抗原的に類似していました。
- ・中国では、インフルエンザA(H7N9)に感染した患者が3人確定されました。詳細はWHOのホームページに掲載されています。
- ・昨年発生した動物からのインフルエンザ感染事例については、WHOの疫学週報に掲載されています。

【北半球の温帯地域】

・北米

カナダと米国では、インフルエンザの活動性は1月上旬にピークに達し、その後、北米における3月第1週のインフルエンザの活動性は全体的に減少し続けています。メキシコにおけるインフルエンザの活動性のピークは両国より約2週間遅くなっています。インフルエンザの活動性は減少しましたが、依然として活動性の高い地域がありました。

カナダでは、3月第2週にインフルエンザウイルスが陽性となった割合は12.2%で、1月第1週の35%に比べ、減少しました。国全体でのインフルエンザ様疾患(ILI)の受診率も、12月末に患者1,000人当たり36.8とピークに達した後、3月第2週は23.2に減少しました。病院、長期療養施設、学校におけるインフルエンザの集団発生は1月第2週に150件の報告がありましたが、3月第2週は24件に減少しました。カナダでは、3月第2週に507株のインフルエンザウイルスが検出されましたが、55.4%がインフルエンザA型であり、亜型が判明しているインフルエンザA型のうち、22.6%がインフルエンザA(H3N2)で、20.8%がインフルエンザA(H1N1)pdm09でした。ほとんどの地域で、インフルエンザB型が検出される割合は、インフルエンザA型が検出される割合に比べ、過

去8週間で増加し、1月下旬には2.1%でしたが、3月第2週には55.4%に増加しました。しかし、シーズンの累計割合では、依然として、インフルエンザB型よりインフルエンザA型が多くを占めています。総合サーベイランスシステムによって、95人のインフルエンザと確定された入院患者が報告されました。そのうち、インフルエンザA型が65%で、主にインフルエンザA(H3N2)でしたが、インフルエンザB型の患者の割合が増加しました。入院患者の多く(40%)が65歳以上でした。また、このサーベイランスで、これまでに271人が死亡したと報告され、そのうち83%(225人)が65歳以上でした。

シーズン当初から、国立微生物学研究所で798株のインフルエンザウイルスの抗原解析が行われ、128株がインフルエンザA(H1N1) pdm09で、470株がインフルエンザA(H3N2)で、160株がインフルエンザB型でした。インフルエンザA型は、すべて、今シーズンに北半球で使用されているワクチン株に抗原的に類似しており、インフルエンザB型ウイルスの多くは、今シーズンに北半球で使用されているワクチン株に抗原的に類似していましたが、160株中40株は前シーズンのワクチン株であったB/Brisbane/60/2008(ビクトリア系統)に類似していました。今シーズンは、これまでに、オセルタミビルまたはザナミビルに対する耐性を示したインフルエンザウイルスはありませんでした(オセルタミビルへの感受性試験は730株、ザナミビルへの感受性試験は727株に実施)。

米国では、インフルエンザの活動性は12月下旬から1月上旬にかけてピークに達した後、3月第2週はほとんどの地域で減少し続けました。国全体では、ILIの外来受診率は、国の閾値である2.2%です。インフルエンザが陽性となった検体の割合は、昨年最終週に38%とピークに達した後、3月第2週は16.3%と減少しました。

122都市の死亡報告システムを通して報告された肺炎とインフルエンザによる全死亡の割合は、1月第4週に9.8%とピークに達した後は減少し、3月第2週は7.6%でしたが、依然として流行閾値の7.5%を若干上回っています。このピークの値は、過去10年間では、2003年から2004年のシーズン(10.4%)に次いで、2番目に高い水準です。また、今シーズンは、これまでにインフルエンザに関連した小児の死亡は105人報告されました。インフルエンザに関連した小児の死亡は、2011年から2012年のシーズン中に34人、2010年から2011年のシーズン中に122人、2009年から2010年のシーズン(パンデミック)中に282人が報告されました。シーズン当初から、検査で確定診断されたインフルエンザに関連した入院患者は11,307人と報告されており、累積率では人口10万人当たり40.6(過去3シーズンに比べて著しく高くなっています(2011年から2012年のシーズンは人口10万人当たり8.6、2010年から2011年のシーズンは人口10万人当たり21.4、2009年から2010年のシーズンは人口10万人当たり29.0)。65歳以上のインフルエンザによる入院患者の割合は、他の年齢層に比べて非常に高くなっており、報告例の51%を占めました。一方、他の年齢層では、入院患者の割合は例年と同様の水準でした。入院患者のうち、9,387人(83.0%)がインフルエンザA型で、1,841人(16.3%)がインフルエンザB型でした。シーズン当初から、全国的にインフルエンザA(H3N2)が優勢ですが、最近数週間でインフルエンザB型ウイルスが検出される割合が増加しています。

3月第2週に検出されたインフルエンザウイルスのうち、72%がインフルエンザB型で、28.1%がインフルエンザA型でした。亜型が判明しているインフルエンザA型ウイルスのうち、34.4%がインフルエンザA(H3N2)で、4.7%がインフルエンザA(H1N1) pdm09でした。国全体では、10地域中8地域で、インフルエンザB型がインフルエンザA型より高頻度で検出されたと報告されました。累計では、米国の傾向はカナダとは対照的であり、カナダでは確定された検体のうち95%がインフルエンザA型でした。

シーズン当初から、疾病予防管理センター(CDC)は1,695株のインフルエンザウイルスの抗原

解析を行いました。このうち141株がインフルエンザA(H1N1)pdm09、1,012株がインフルエンザA(H3N2)、542株がインフルエンザB型でした。インフルエンザA型は、すべて、今シーズンに北半球で使用されているワクチン株に抗原的に類似していました。インフルエンザB型の多くは、今シーズンに北半球で使用されているワクチン株に抗原的に類似していましたが、542株のうち159株はB/Victoria/02/87-likeの系統でした。さらに、インフルエンザA(H3N2)のうち0.4%(1,012株中4株)はA/Victoria/361/2011に対して産生される抗血清の力価が低下しており、インフルエンザA(H1N1)pdm09のうち2.1%(141株中3株)はA/California/7/2009に対して産生される抗血清の力価が低下していました。シーズン当初から、インフルエンザB型ウイルスでは、ノイラミニダーゼ阻害薬であるオセルタミビルとザナミビルに対する耐性は認められませんでした。インフルエンザA(H1N1)pdm09は405株が検査され、オセルタミビル耐性株が2株報告されました。インフルエンザA(H3N2)は1,577株が検査され、オセルタミビル耐性株が2株報告されました。

メキシコのインフルエンザの活動性は、過去数週間で減少傾向にあり、主にインフルエンザA(H3N2)が検出されました。メキシコのインフルエンザの活動性は、米国よりも約2週間遅れてピークに達したようです。

・ヨーロッパ

ヨーロッパのインフルエンザの活動性は、ほとんどの地域で減少し続けていますが、東部の数か国では、依然として高い水準にあると報告されています。

西部では、ILIや急性呼吸器感染症(ARI)の受診率は1月最終週頃にピークに達しましたが、例年に比べてインフルエンザのシーズンが長く、検出されるウイルスは国によって異なり、数か国ではシーズン中に検出されるウイルスが変わりました。ヨーロッパでインフルエンザが陽性になった検体の割合は前回の報告よりも減少しましたが、46%(1,199検体中549検体)であり、依然として高い水準です。全体的なピークは、1月最終週の60%でした。重症急性呼吸器感染症(SARI)のサーベイランスを実施している国で、1週間のSARIによる入院患者数は既にピークに達しましたが、東部ではピークに達していない国もあります。ヨーロッパ全体では、インフルエンザA(H1N1)pdm09が最も多く検出されていますが、地域によって異なります。シーズン当初から、78,000株以上のインフルエンザウイルスが解析されました。このうち65%がインフルエンザA型で、35%がインフルエンザB型でした。亜型が判明したインフルエンザA型のうち、70%(32,806株中23,002株)がインフルエンザA(H1N1)pdm09で、30%(32,806株中9,804株)がインフルエンザA(H3N2)でした。しかし、北部や西部では、インフルエンザB型が優勢である国や、インフルエンザA(H1N1)pdm09とインフルエンザA(H3N2)とインフルエンザB型がともに検出されていると報告する国が多い傾向にあります。対照的に、東部ではインフルエンザB型の検出は非常に少数です。

東部の数か国で、3月第2週に成人の入院患者数、インフルエンザが陽性になった検体の割合、ARIとILIの受診率の増加がみられました。ヨーロッパ死亡率監視プロジェクトに参加している15か国の先週の報告でも同様の傾向にあり、65歳以上の死亡率が高くなっています。ほとんどの国では、超過死亡は例年と比べ、中程度と考えられています。しかし、デンマークでは、超過死亡が最も多く、最も長期にわたって報告されました。

シーズン当初から、4,099株のインフルエンザA型ウイルスが解析されましたが、インフルエンザA(H1N1)pdm09とインフルエンザA(H3N2)は、すべて、今シーズンにWHOが使用を推奨している季節性のインフルエンザワクチンに含まれるA/California/7/2009とA/Victoria/361/2011に抗原的に類似していました。解析された1,136株のインフルエンザB型ウイルスのうち、85%(1,594株中1,361株)はB/Yamagata/16/88-lineageと抗原的に類似しており、14%(1,594株中218株)は

B/Victoria/2/87-lineageと抗原的に類似していました。

シーズン当初から、ノイラミニダーゼ阻害薬であるオセルタミビルとザナミビルの感受性検査が12か国で合計967株について行われました。H275Yのアミノ酸変異を有するオセルタミビル耐性株が9株検出されました。233株のインフルエンザA(H3N2)は、すべて、オセルタミビルとザナミビルに感受性がありました。291株のインフルエンザB型のうち1株はオセルタミビルによる阻害効果が減少していました。

・ アフリカ北部と東地中海地域

アフリカ北部と東地中海地域では、インフルエンザ陽性検体数は、過去数週間にわたって減少しました。両地域ともに2月第1週にピークに達しました。アフリカ北部と東地中海地域のほとんどの地域では、インフルエンザA(H1N1)pdm09が優勢でした。数か国(バーレーンとヨルダン)で、過去数週間でインフルエンザB型が検出される割合が増加しました。

・ 北アジアと東アジア

アジアの温帯地域では、ほとんどの地域でインフルエンザの活動性が減少し続けています。中国北部と日本では、約4週間にわたって、ILIの活動性と、ILI患者の検体でインフルエンザが陽性になったものの割合が減少しました。一方、モンゴルでは、外来患者の割合に基づくILIの活動性は、依然として高いですが、季節性の水準の許容範囲内です。

韓国のインフルエンザの活動性は減少し続けており、ILIの患者は3月(第9週)に、患者1,000人当たり12.7とピークに達した後、患者1,000人当たり9.0に減少しました。前回の報告同様、北アジアでは、インフルエンザA(H3N2)が最も多く検出されています。

中国北部でも減少しており、インフルエンザのシーズンは終わったようです。インフルエンザが陽性になった検体の割合は1月上旬に約27%とピークに達し、3月第2週は5.6%と減少しました。今シーズン当初から中国国家インフルエンザセンターで亜型が解析されたインフルエンザウイルスのうち、インフルエンザA(H1N1)pdm09の99.4%(173株)はA/California/7/2009-likeに類似しており、インフルエンザA(H3N2)はすべて(559株)A/Victoria/361/2011(H3N2)-likeに類似していました。また、インフルエンザB型では、インフルエンザB/Yamagataはすべて(25株)B/Wisconsin/01/2010-likeに類似しており、B/Victoriaの96.7%(147株)はB/Brisbane/60/2008-likeに類似していました。昨年10月以降に検査されたインフルエンザウイルスのうち、インフルエンザA(H1N1)pdm09とインフルエンザA(H3N2)はすべて、ノイラミニダーゼ阻害薬に感受性があり、アマンタジンに耐性を示しました。また、インフルエンザB型ウイルスはすべて、ノイラミニダーゼ阻害薬に感受性がありました。

【熱帯地域】

・ アメリカ大陸(中米、カリブ海諸国)の熱帯地域

中米とカリブ海諸国では、インフルエンザの活動性は前週と比べ、ほぼ同じか減少しました。全体的には、インフルエンザA(H1N1)pdm09、インフルエンザA(H3N2)、インフルエンザB型が検出されていますが、主にインフルエンザA(H3N2)が検出されています。全体的にみて、ILIと急性呼吸器疾患の患者のほとんどがインフルエンザではない疾患と報告されており、RSウイルスとライノウイルスが最も多く報告されています。キューバでは3種類のインフルエンザウイルスが報告されており、活動性がわずかに報告されています。ニカラグアでは、前回の報告と異なり、2月の最終週にピークに達した後、著しく減少したと報告されています。

南米の熱帯地域では、インフルエンザの活動性は低いままで、予想される水準に留まっています。エクアドルではインフルエンザB型が少数報告されており、ペルーではインフルエンザA(H3N2)が少数報告されています。

・ 中部アフリカ

ブルキナファソ、カメルーン、コンゴ民主共和国など、中部アフリカのほとんどの国では、過去数週間にわたって、インフルエンザの検出数は低いですが、3種類のインフルエンザウイルスの検出が続いています。ケニアでは2種類のインフルエンザウイルスの検出が続いており、マダガスカルではインフルエンザA(H3N2)とインフルエンザB型が検出されていると報告されています。ルワンダ、タンザニアでは過去数週間にインフルエンザの活動性が急に増加しました。

【アジアの熱帯地域】

南アジアのインフルエンザの伝播は低い水準です。3月第1週は、ほとんどの国で散発的な活動性と報告されています。

インドでは、2月下旬にはインフルエンザA(H1N1)pdm09が優勢でしたが、インフルエンザA(H1N1)pdm09とインフルエンザA(H3N2)の2種類のウイルスが検出されていると報告されています。スリランカでは、インフルエンザの活動性が増加し、優勢なインフルエンザの型・亜型はありません。

【南半球の温帯地域】

南半球の温帯地域のすべての国で、現在、インフルエンザの活動性は、シーズンオフの水準です。

[中国でインフルエンザA\(H7N9 \)の患者が発生しました\(更新1 \)](#)

2013年4月3日 WHO(GAR)

4月3日付けで公表された世界保健機関(WHO)の情報によりますと、中国の国家衛生・計画出産委員会は4月3日、インフルエンザA(H7N9)に感染した患者が新たに4人発生したとWHOに報告しました。この4人の患者は中国東部の江蘇省で発生しました。この患者の間に疫学的な関連はありません。

患者は、3月19日に発症した45歳の女性、同じく3月19日に発症した48歳の女性、3月20日に発症した83歳の男性、3月21日に発症した32歳の女性で、いずれも重篤な状態にあります。

これまでに、中国でインフルエンザA(H7N9)に感染したと確定された患者は7人です。前回の報告で確定された患者は3人で、上海市と安徽省から報告されており、2人が死亡しています。

江蘇省では、4人の患者の接触者として160人以上が経過観察されています。現時点では、経過観察中の接触者で発症した人はいません。上海市で発生した患者1人の接触者2人の遡及調査が行われています。この2人の接触者は発症し、1人は死亡し、1人は回復しました。この接触者は確定診断がされていません。

中国政府はこの事例について積極的に調査を行っており、患者を早期に発見し、診断及び治療するためにサーベイランスを強化しています。医療機関での感染予防と感染制御も強化されています。人の保健、動物の保健、産業界との連携も強化されています。政府は国民に手洗いの励行や、病気になった動物や死亡した動物に直接接触することを避けるように勧めています。

WHOは国の当局と連携し、この事例を注視しています。WHOが調整している国際的な対応は、WHOの共同センターや関係機関と連携して、情報収集、診断と治療のための資料の作成、ワクチン開発に焦点が当てられています。現時点では、このインフルエンザウイルスの亜型に有効なワクチンはありません。中国のWHO共同センターによる暫定的な検査結果によれば、このウイルスはノイラミニダーゼ阻害薬(オセルタミビルとザナミビル)に感受性があると示唆されています。

現時点では、人から人に感染が続いているという根拠はありません。

WHOは、この事例に関して入国時の特別なスクリーニングおよび渡航や貿易を制限することを推奨していません。

中国でインフルエンザA(H7N9)の患者が発生しました(更新2)

2013年4月4日 WHO(GAR)

4月4日付けで公表された世界保健機関(WHO)の情報によりますと、中国の保健当局は4月4日、インフルエンザA(H7N9)に感染した患者が新たに4人発生したとWHOに報告しました。このうち3人が死亡しています。

死亡した3人の患者は、3月7日に発症した浙江省の38歳の男性、3月29日に発症した浙江省の64歳の男性、3月28日に発症した上海市の48歳の男性です。

4人目の患者は、3月25日に発症した浙江省の67歳の男性で、現在重篤な状態にあります。

確定患者の間に疫学的な関連はありません。これまでに、中国でインフルエンザA(H7N9)に感染したと確定された患者は11人で、このうち5人が死亡しています。確定患者の接触者として400人以上が経過観察されています。現時点では、経過観察中の接触者で発症した人はいません。

中国政府はこの事例について積極的に調査を行っており、サーベイランスを強化しています。最近の重症呼吸器感染症にかかった患者の遡及検査によって、過去に判明していなかった患者が新たに判明するかもしれません。政府内の対策本部が設立され、国家衛生・計画出産委員会は農業省など関係する省と調整を行っています。動物保健を担当する部署では、感染源やウイルスの保有宿主に関する調査を強化しています。

WHOは国の当局と連携し、この事例を注視しています。WHOが調整している国際的な対応は、WHOの共同センターや関係機関と連携して、情報収集、診断と治療のための資料の作成、ワクチン開発に焦点が当てられています。現時点では、このインフルエンザウイルスの亜型に有効なワクチンはありません。中国のWHO共同センターによる暫定的な検査結果によれば、このウイルスはノイラミニダーゼ阻害薬(オセルタミビルとザナミビル)に感受性があると示唆されています。

現時点では、人から人に感染が続いているという根拠はありません。

WHOは、この事例に関して入国時の特別なスクリーニングおよび渡航や貿易を制限することを推奨していません。

中国でインフルエンザA(H7N9)の患者が発生しました(更新3)

2013年4月5日 WHO(GAR)

4月5日付けで公表された世界保健機関(WHO)の情報によりますと、中国の保健当局は同日、

インフルエンザA(H7N9)に感染した患者が新たに5人発生したとWHOに報告しました。このうち1人が死亡しています。

5人の患者のうち、3人は上海市、2人は江蘇省で発生しました。

上海市の患者は、3月27日に発生した52歳の女性が死亡しているほか、3月22日に発症した67歳の男性が重篤な状態にあり、3月31日に発症した4歳の男児は軽症です。

江蘇省の2人の患者はいずれも重篤な状態にあります。3月20日に発症した61歳の女性と3月21日に発症した79歳の男性です。

これまでに、中国でインフルエンザA(H7N9)に感染したと確定された患者は16人で、このうち6人が死亡しました。

確定患者の接触者として520人以上が経過観察されています。江蘇省では、以前に確定された患者の接触者で症状が現れた人の調査が進められています。

中国政府はこの事例について積極的に調査を行っており、サーベイランスを強化しています。最近の重症呼吸器感染症にかかった患者の遡及検査によって、過去に判明していなかった患者が新たに判明するかもしれません。政府内の対策本部が設立され、国家衛生・計画出産委員会は農業省など関係する省と調整を行っています。動物保健を担当する部署では、感染源やウイルスの保有宿主に関する調査を強化しています。

WHOは国の当局と連携し、この事例を注視しています。WHOが調整している国際的な対応は、WHOの共同センターや関係機関と連携して、情報収集、診断と治療のための資料の作成、ワクチン開発に焦点が当てられています。現時点では、このインフルエンザウイルスの亜型に有効なワクチンはありません。中国のWHO共同センターによる暫定的な検査結果によれば、このウイルスはノイラミニダーゼ阻害薬(オセルタミビルとザナミビル)に感受性があると示唆されています。

現時点では、人から人に感染が続いているという根拠はありません。

WHOは、この事例に関して入国時の特別なスクリーニングおよび渡航や貿易を制限することを推奨していません。

中国でインフルエンザA(H7N9)の患者が発生しました(更新4)

2013年4月6日 WHO(GAR)

4月6日付けで公表された世界保健機関(WHO)の情報によりますと、中国の保健当局は同日、インフルエンザA(H7N9)に感染した患者が新たに2人発生したとWHOに報告しました。

2人の患者は、いずれも上海市で発生しました。3月28日に発症した74歳の男性は重篤な状態にあり、3月29日に発症した66歳の男性は軽症と考えられています。

これまでに、中国でインフルエンザA(H7N9)に感染したと確定された患者は18人で、このうち6人が死亡し、10人が重症で、2人が軽症です。

確定患者の接触者として530人以上が経過観察されています。江蘇省では、以前に確定された患者の接触者で症状が現れた人の調査が進められています。

中国政府はこの事例について積極的に調査を行っており、サーベイランスを強化しています。最近の重症呼吸器感染症にかかった患者の遡及検査によって、過去に判明していなかった患者が新たに判明するかもしれません。政府内の対策本部が設立され、国家衛生・計画出産委員会は農業省など関係する省と調整を行っています。動物保健を担当する部署では、感染源やウイルスの保有宿主に関する調査を強化しています。

WHOは国の当局と連携し、この事例を注視しています。WHOが調整している国際的な対応は、WHOの共同センターや関係機関と連携して、情報収集、診断と治療のための資料の作成、ワクチン開発に焦点が当てられています。現時点では、このインフルエンザウイルスの亜型に有効なワクチンはありません。中国のWHO共同センターによる暫定的な検査結果によれば、このウイルスはノイラミニダーゼ阻害薬(オセルタミビルとザナミビル)に感受性があると示唆されています。

現時点では、人から人に感染が続いているという根拠はありません。

WHOは、この事例に関して入国時の特別なスクリーニングおよび渡航や貿易を制限することを推奨していません。

中国でインフルエンザA(H7N9)の患者が発生しました(更新5)

2013年4月7日 WHO(GAR)

4月7日付けで公表された世界保健機関(WHO)の情報によりますと、中国の保健当局は同日、インフルエンザA(H7N9)に感染した患者が新たに3人発生したとWHOに報告しました。

3人の患者は、3月25日に発症した上海市に住む59歳の男性が重篤な状態にあるほか、3月28日に発症した安徽省に住む55歳の男性は容態が安定しており、3月29日に発症した上海市に住む67歳の男性は軽症と考えられています。

これまでに、中国でインフルエンザA(H7N9)に感染したと確定された患者は21人で、このうち6人が死亡し、12人が重症で、3人が軽症です。

確定患者の接触者として530人以上が経過観察されています。江蘇省では、以前に確定された患者の接触者で症状が現れた人の調査が進められています。

中国政府はこの事例について積極的に調査を行っており、サーベイランスを強化しています。最近の重症呼吸器感染症にかかった患者の遡及検査によって、過去に判明していなかった患者が新たに判明するかもしれません。政府内の対策本部が設立され、国家衛生・計画出産委員会は農業省など関係する省と調整を行っています。動物保健を担当する部署では、感染源やウイルスの保有宿主に関する調査を強化しています。

WHOは国の当局と連携し、この事例を注視しています。WHOが調整している国際的な対応は、WHOの共同センターや関係機関と連携して、情報収集、診断と治療のための資料の作成、ワクチン開発に焦点が当てられています。現時点では、このインフルエンザウイルスの亜型に有効なワクチンはありません。中国のWHO共同センターによる暫定的な検査結果によれば、このウイルスはノイラミニダーゼ阻害薬(オセルタミビルとザナミビル)に感受性があると示唆されています。

現時点では、人から人に感染が続いているという根拠はありません。

WHOは、この事例に関して入国時の特別なスクリーニングおよび渡航や貿易を制限することを推奨していません。



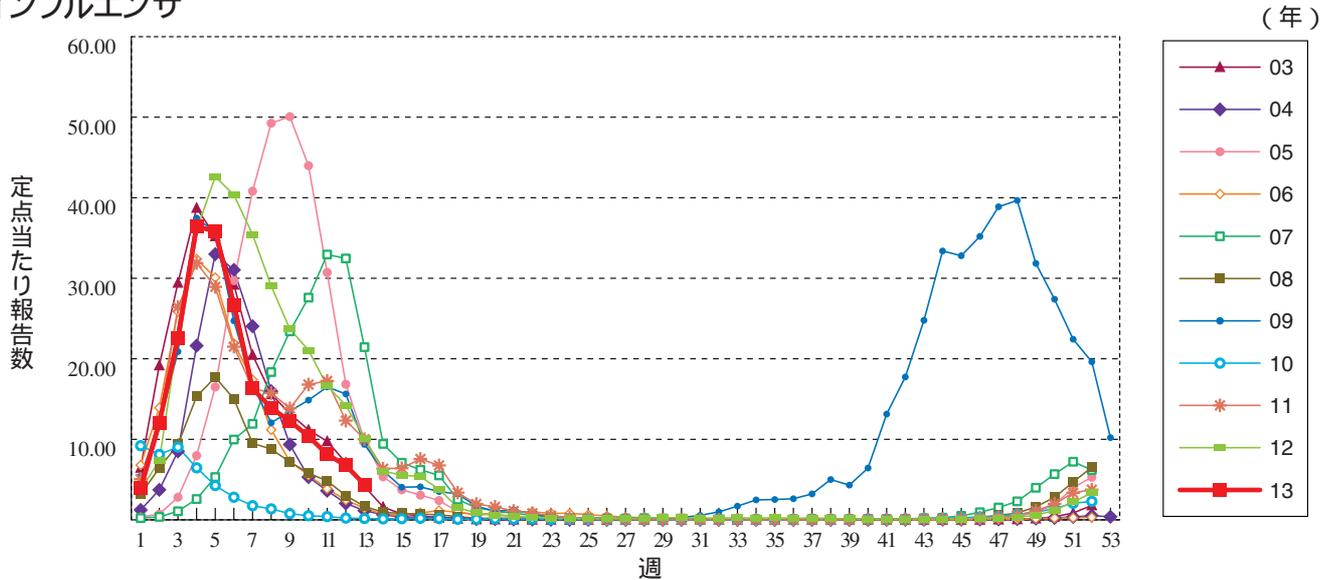
感染症の話

今週はお休みさせていただきます。
「感染症の話」過去の掲載分については
<http://www.nih.go.jp/niid/ja/encyclopedia.html>
でご覧いただけます。

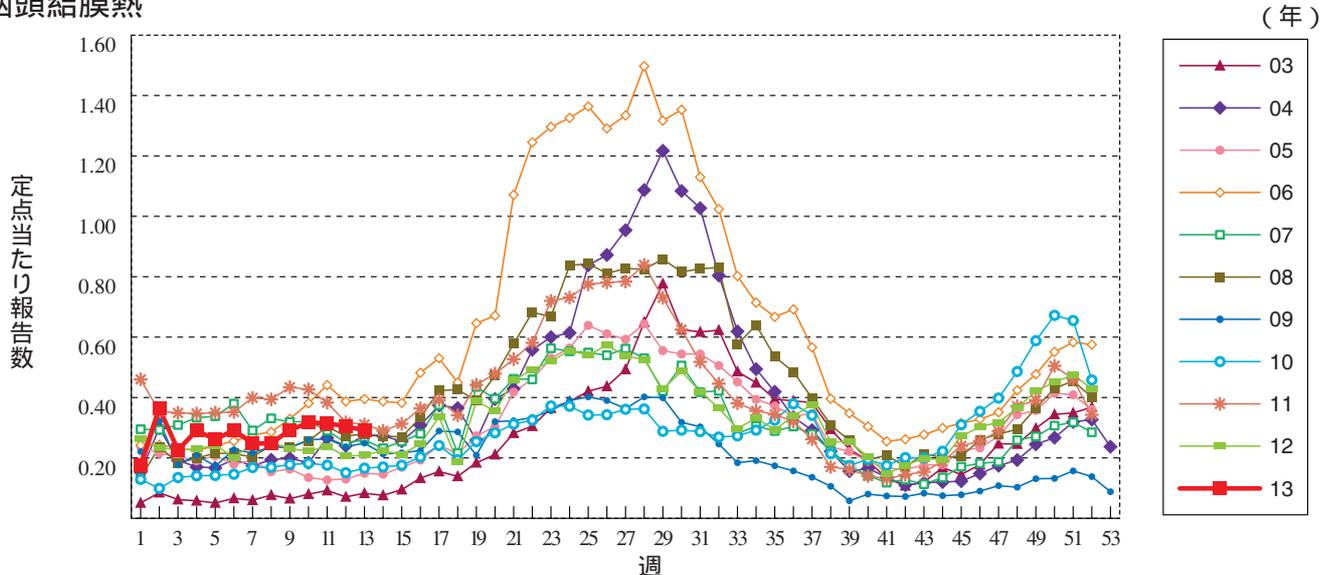


グラフ総覧(13週)

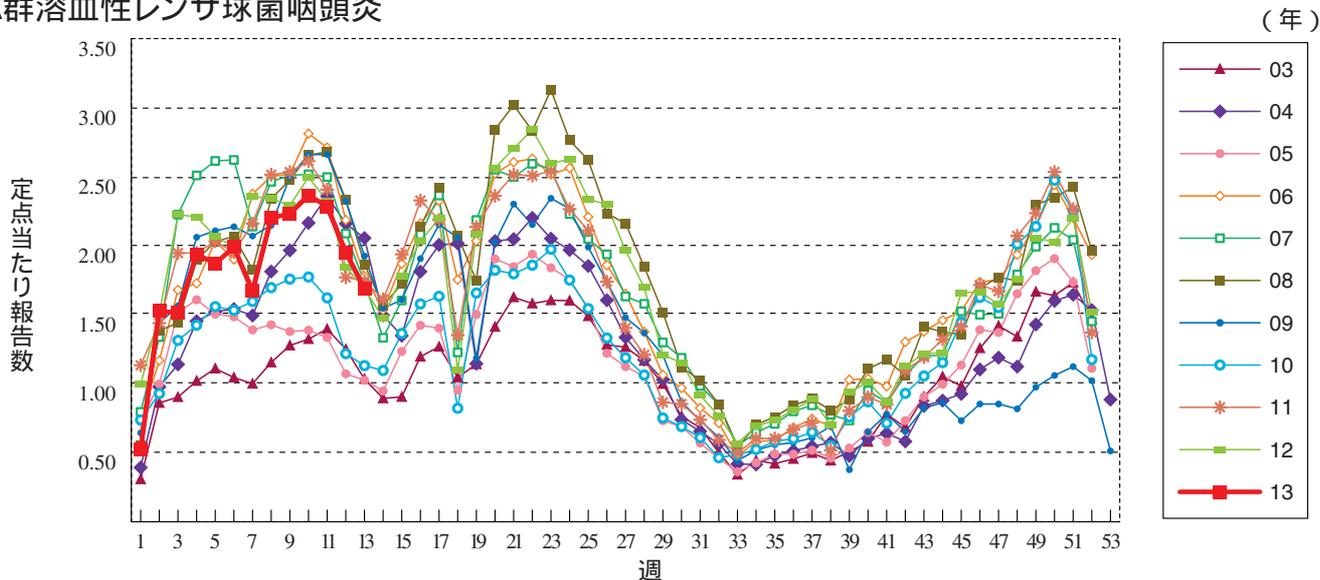
インフルエンザ



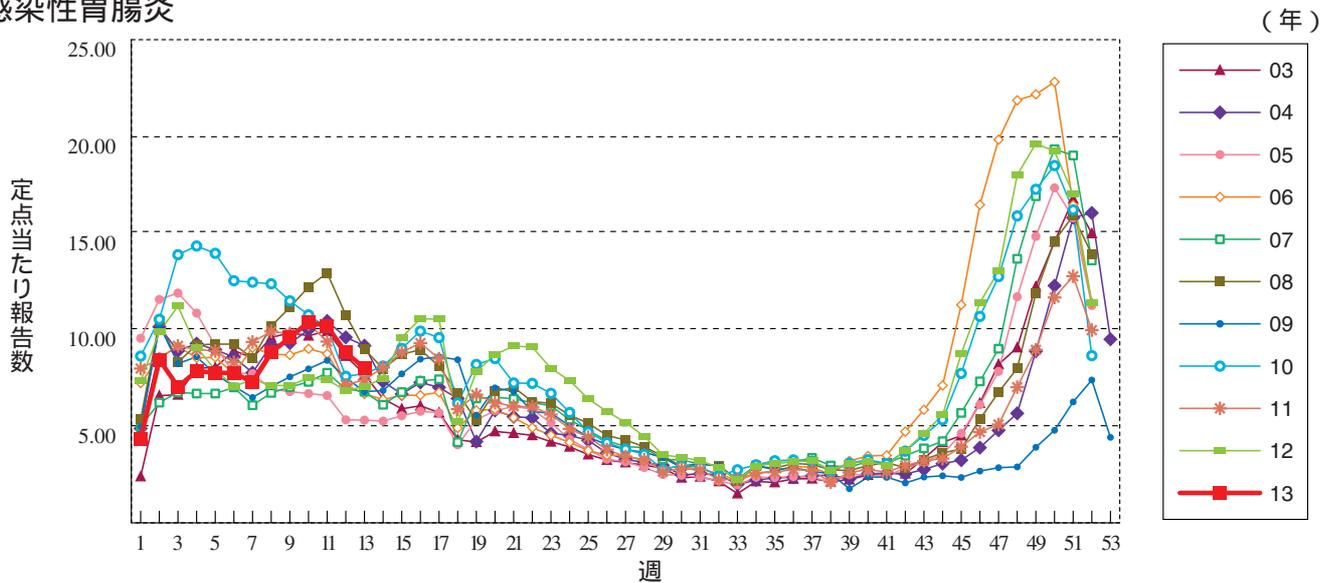
咽頭結膜熱



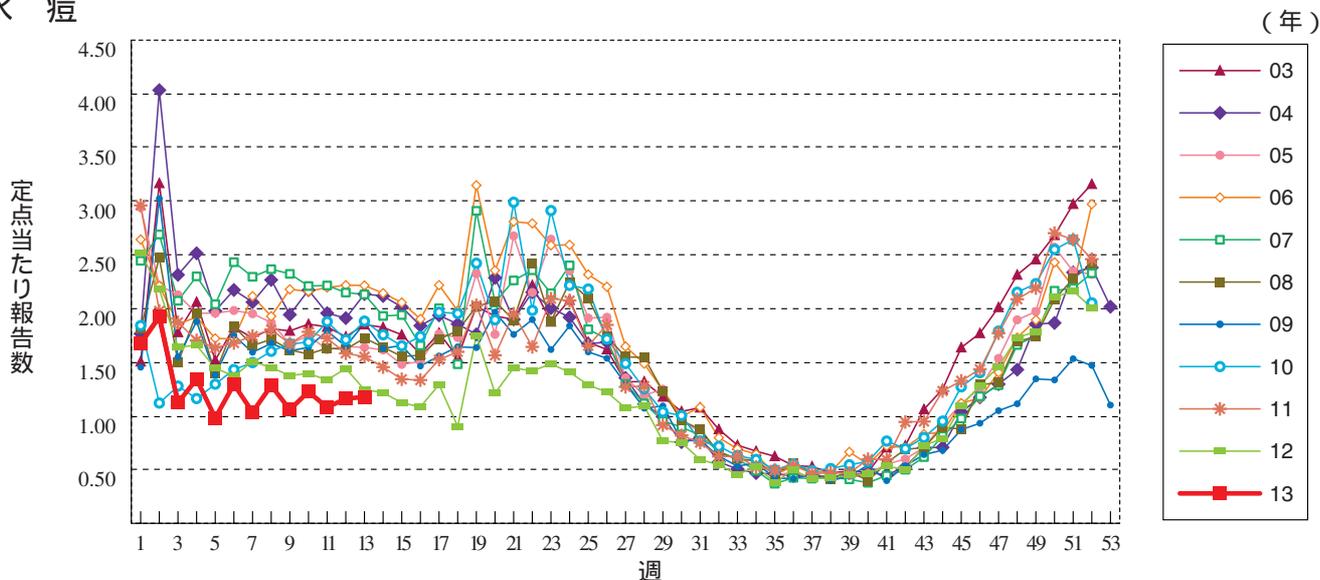
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



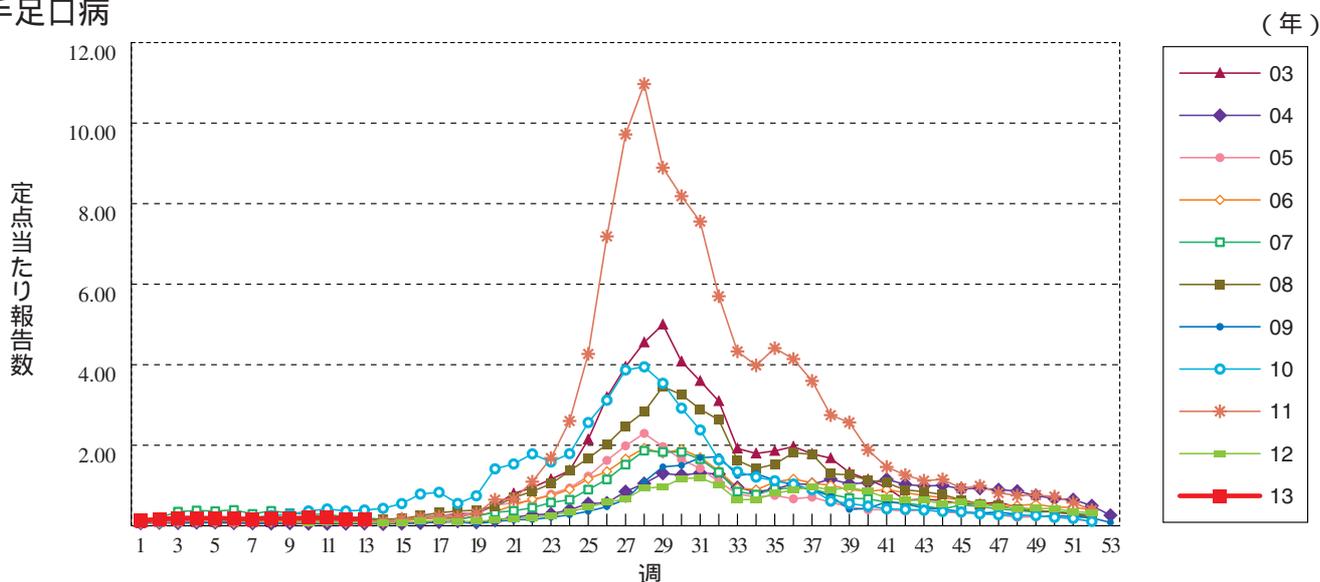
感染性胃腸炎



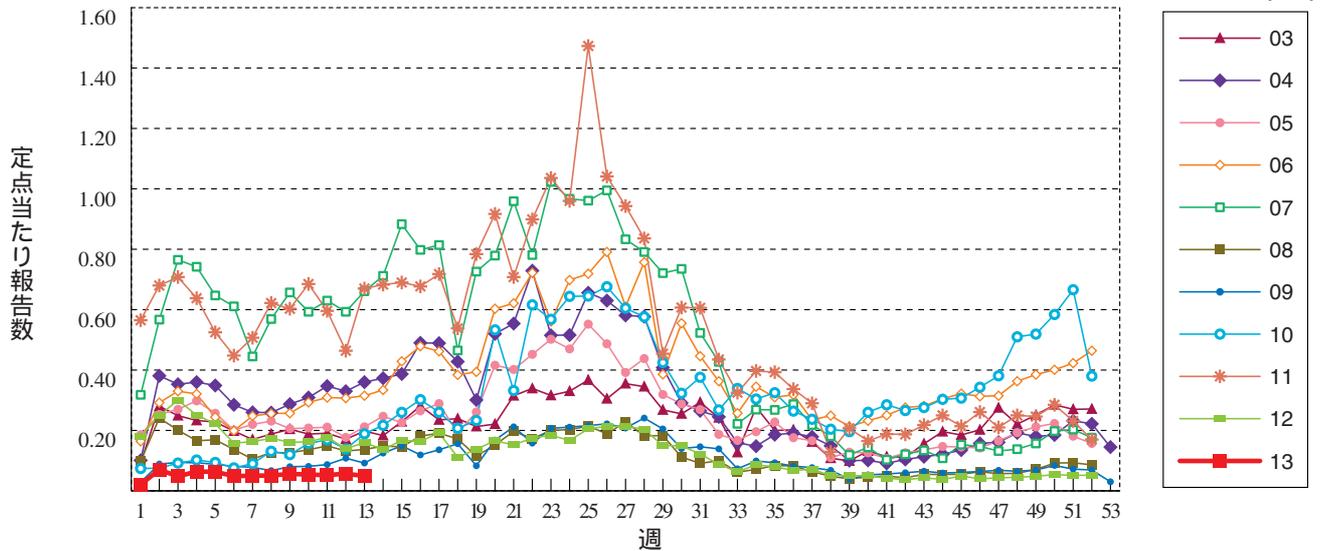
水痘



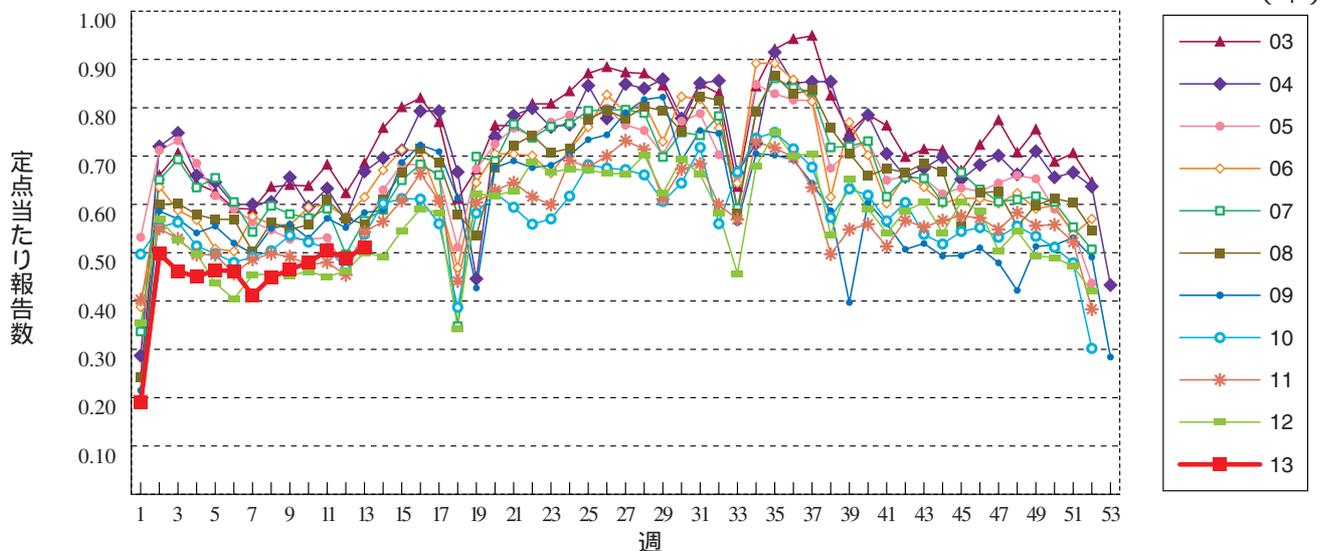
手足口病



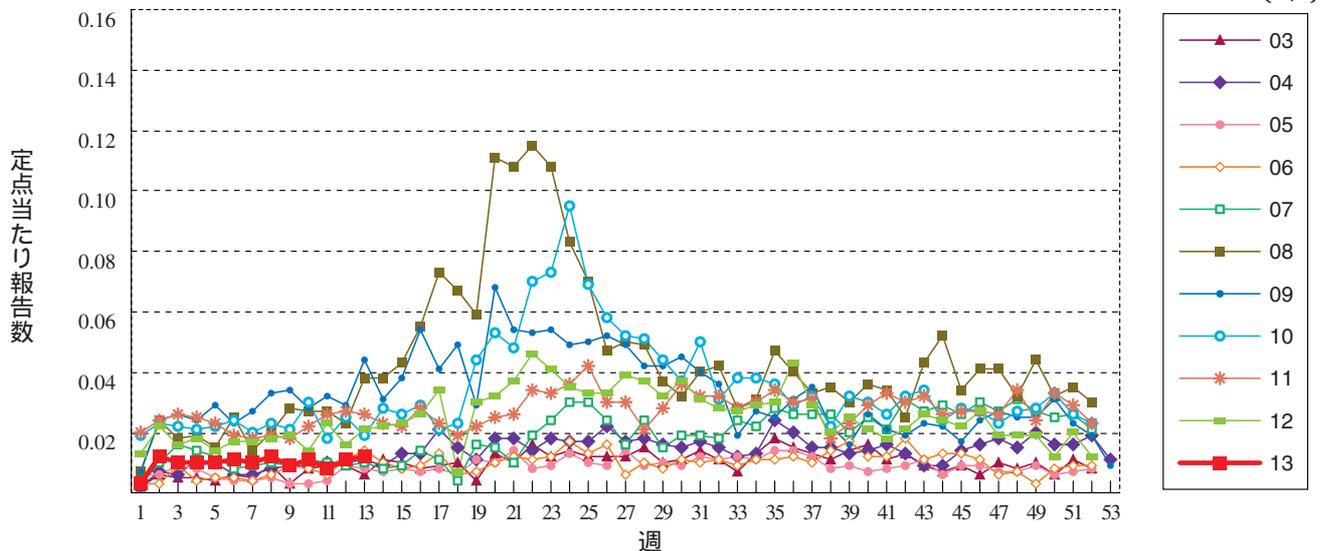
伝染性紅斑



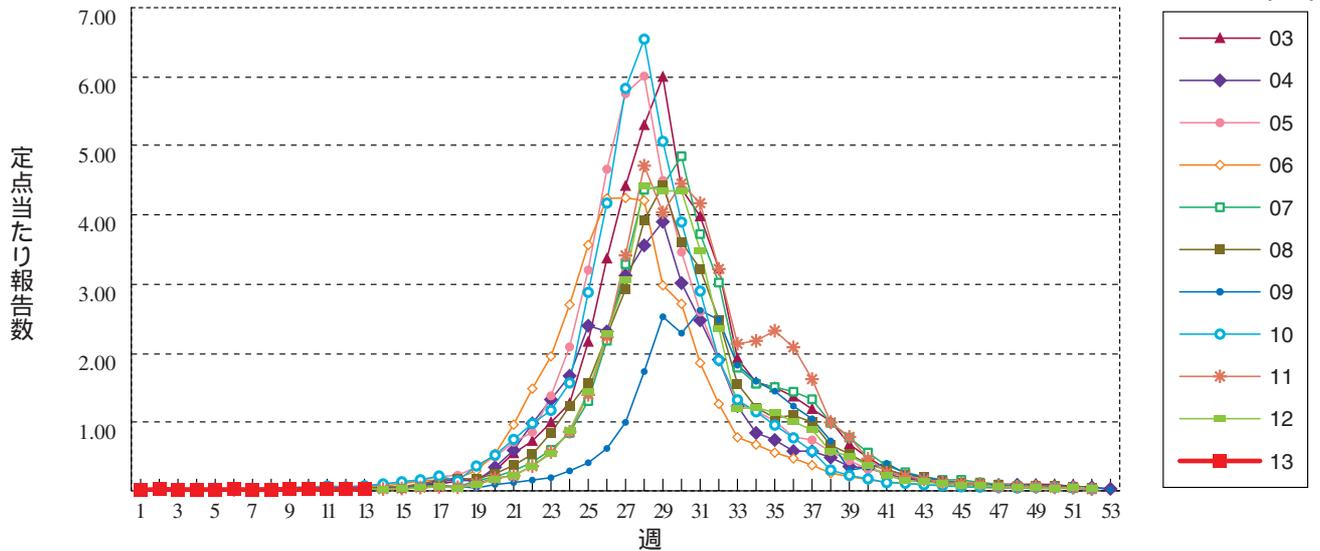
突発性発しん



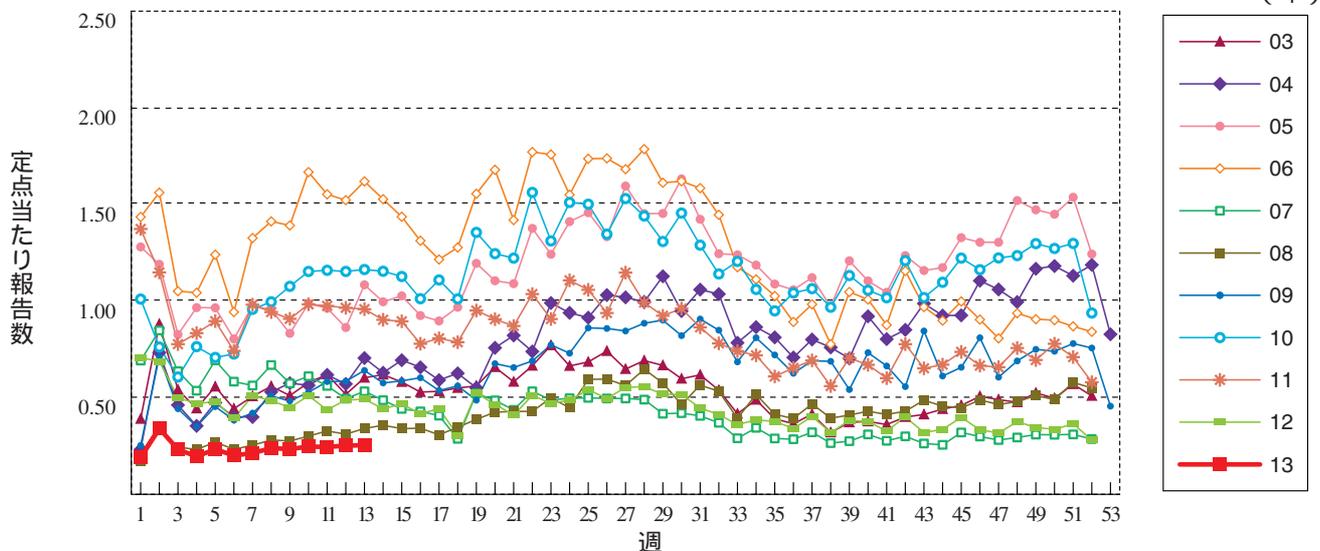
百日咳



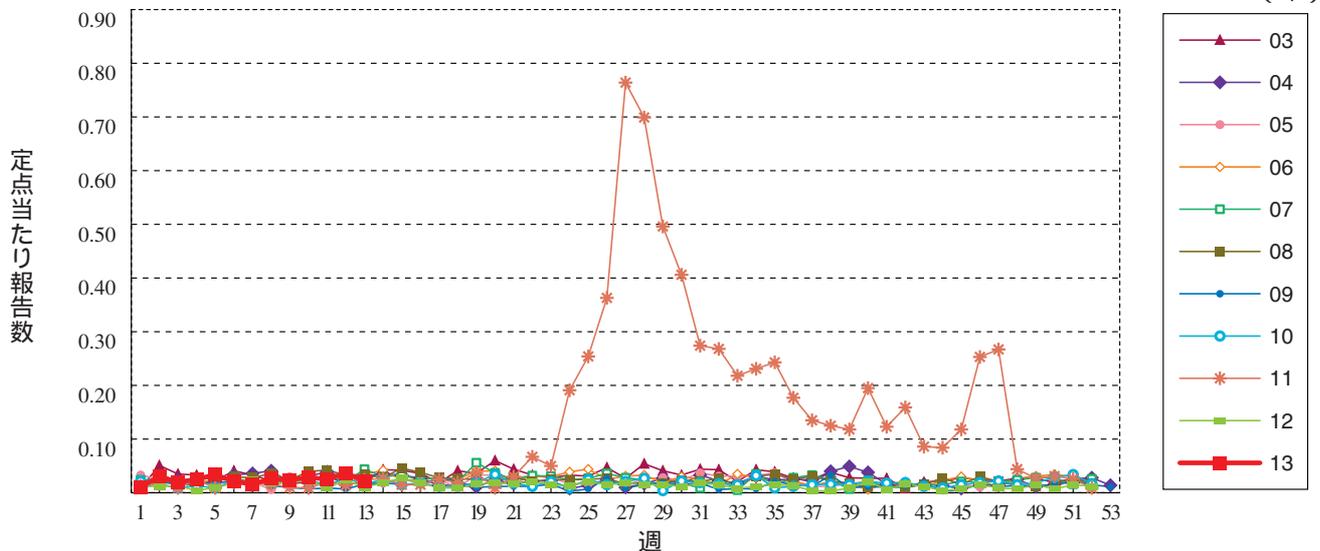
ヘルパンギーナ



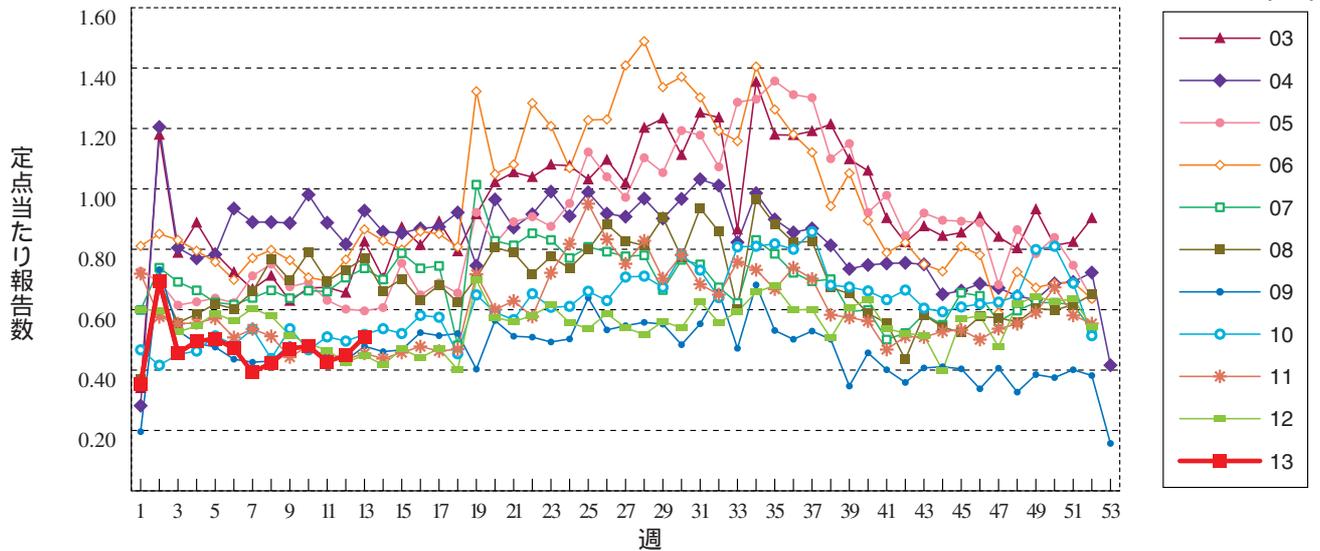
流行性耳下腺炎



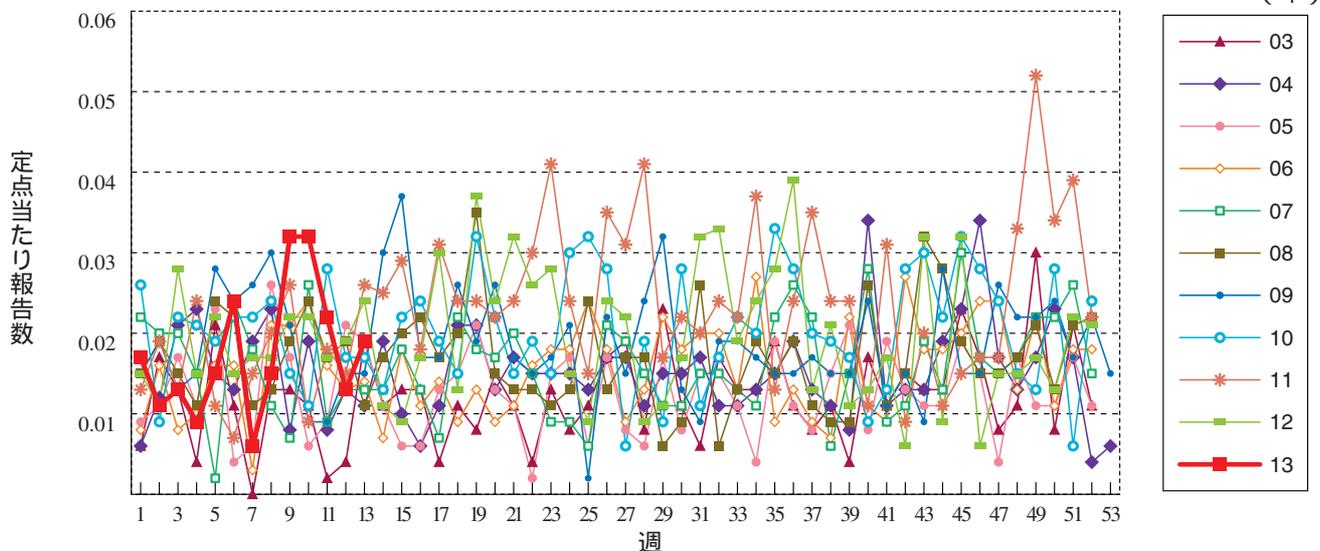
急性出血性結膜炎



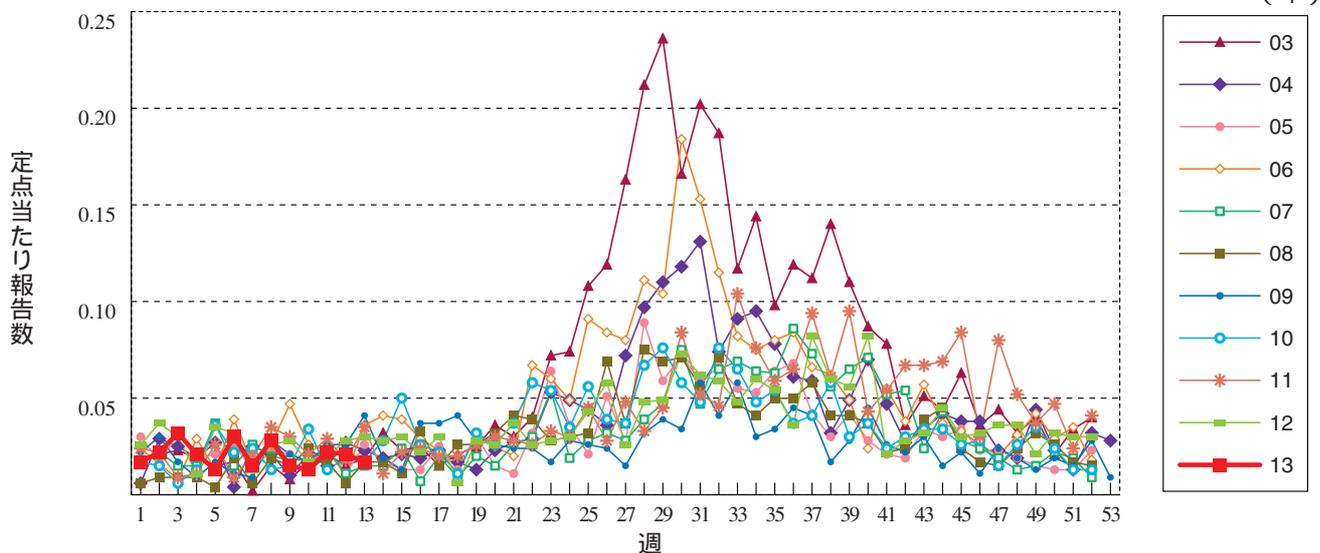
流行性角結膜炎



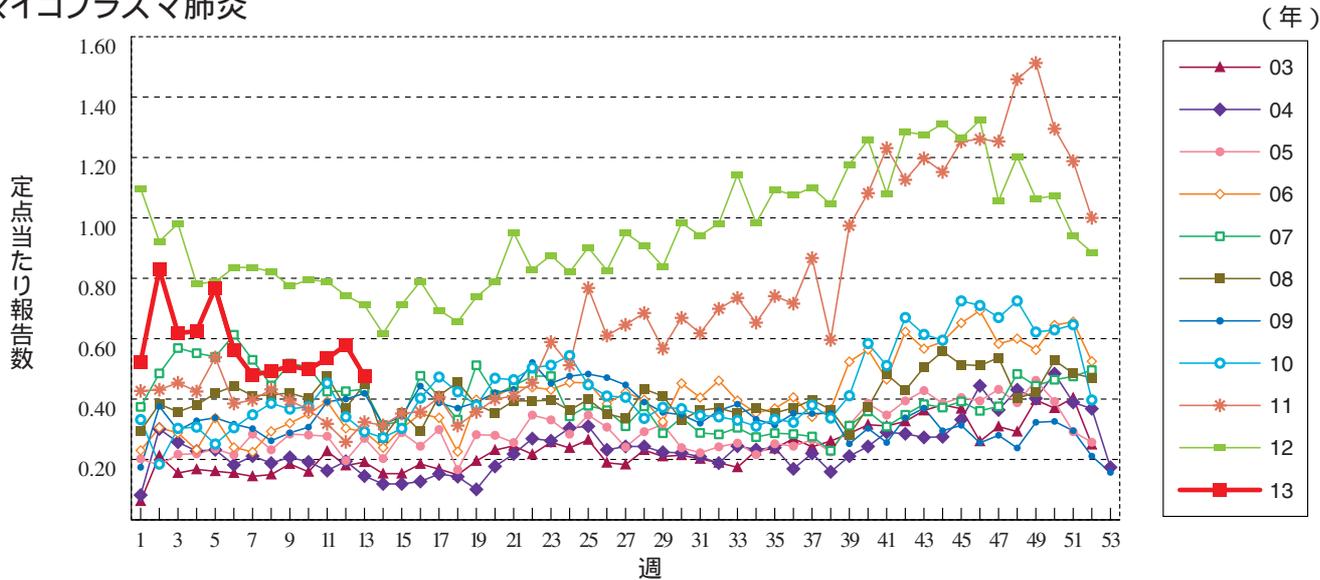
細菌性髄膜炎



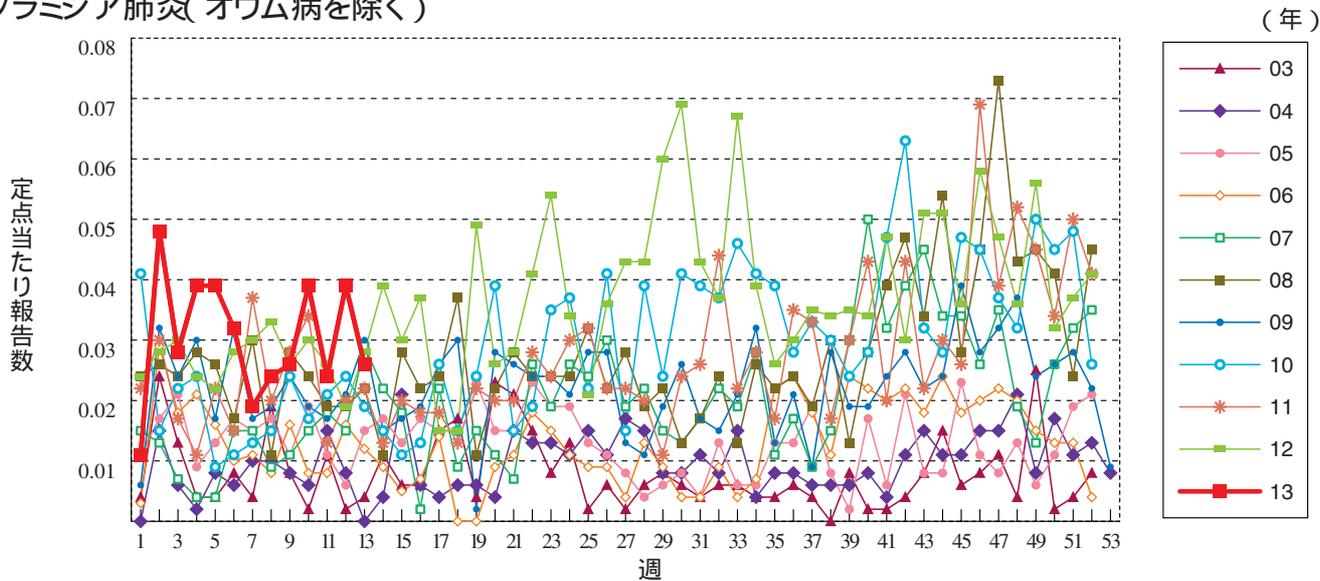
無菌性髄膜炎



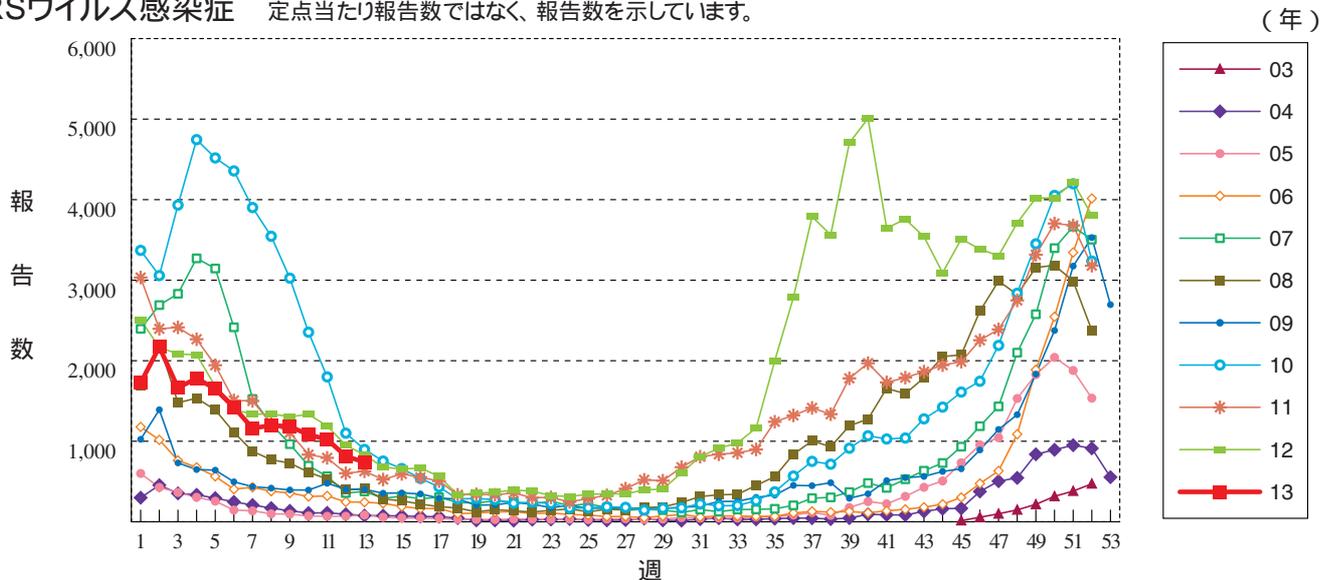
マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎(オウム病を除く)



RSウイルス感染症 定点当たり報告数ではなく、報告数を示しています。





13週のデータ

注)表中の報告数は4月3日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。
 新型インフルエンザは掲載していません。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2013年13週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		痘 そう		南米出血熱		ペ ス ト		マールブルグ病		ラッサ熱		急性灰白髄炎		結 核	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	362	5741
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16	166
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	70
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	43
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	67
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	37
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	78
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	64
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	116
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	69
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	46
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21	262
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22	278
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	41	875
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25	379
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	80
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	39
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	35
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	36
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	27
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	77
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	86
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	146
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25	400
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	75
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	68
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	140
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18	425
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18	240
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	64
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	84
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	27
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	62
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	120
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	49
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	38
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	49
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	41
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	31
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	260
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	39
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	69
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	62
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	73
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	64
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	54
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25	109

*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2013年13週

	ジフテリア		重症急性 呼吸器症候群*		鳥インフル エンザ (H5N1)		コレラ		細菌性赤痢		腸管出血性 大腸菌感染症		腸チフス		パラチフス		E型肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	30	15	159	3	15	3	17	2	37	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	9	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	10	-	-	-	-	-	1	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	3	-	-	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	1	-	-	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	-	-	-	-	1	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-	1	2	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	1	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	1	2	-	1	-	-	
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	8	1	13	2	8	-	6	-	12	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	8	-	1	1	1	-	1	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-	-	-	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	1	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	4	-	-	-	-	-	3	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	4	-	-	-	-	-	-	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	2	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	6	-	-	-	2	-	-	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	1	-	-	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	1	-	-	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	9	-	3	-	-	-	-	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	4	-	-	-	-	-	-	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	1	1	-	-	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	12	-	1	-	-	-	-	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	1	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	1	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2013年13週

	ウエストナイル熱		A型肝炎		エキノコックス症		黄熱		オウム病		オムスク出血熱		回帰熱		キャサナル森林病		Q熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	2	38	-	4	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2013年13週

	狂犬病		コクシジ オイデス症		サル痘		重症熱性血小板 減少症候群		腎症候性出血熱		西部ウマ脳炎		ダニ媒介脳炎		炭疽		チクングニア熱			
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積		
総数	-	-	-	2	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
東京都	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*鳥インフルエンザ H5N1 を除く。

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

2013年13週

	つつかが虫病		デング熱		東部ウマ脳炎		鳥インフルエンザ*		ニパウイルス感染症		日本紅斑熱		日本脳炎		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	33	5	36	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	2	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	1	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2013年13週

	鼻 疽		ブルセラ症		ペネズエラ ウマ脳炎		ヘンドラウイルス 感染症		発しんチフス		ポツリヌス症		マラリア		野 兎 病		ライム病	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	13	-	-	-	1
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*E型肝炎およびA型肝炎を除く。

**ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ペネズエラウマ脳炎およびリフトバレー熱を除く。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2013年13週

	リッサウイルス感染症		リフトバレー熱		類鼻疽		レジオネラ症		レプトスピラ症		ロッキー山紅斑熱		アメーバ赤痢		ウイルス性肝炎*		急性脳炎**	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	2	11	179	-	1	-	-	9	226	-	49	1	121
北海道	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	1	-	-	-	6
青森県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	1	-	-	-	12
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	3	-	-	-	10
群馬県	-	-	-	-	-	-	1	7	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	1	7	-	1	-	11
千葉県	-	-	-	-	-	-	2	9	-	-	-	-	1	17	-	1	-	8
東京都	-	-	-	-	-	1	-	17	-	-	-	-	4	50	-	14	-	15
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	8	-	1	-	-	-	28	-	7	-	3
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	6	-	-	-	5
富山県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1
福井県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	7	-	1	-	2
岐阜県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	1	7	-	-	-	-	-	7	-	1	-	2
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	14	-	-	-	-	1	16	-	1	-	10
三重県	-	-	-	-	-	-	1	5	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
京都府	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	3	-	4	-	2
大阪府	-	-	-	-	-	-	2	13	-	-	-	-	-	17	-	6	-	12
兵庫県	-	-	-	-	-	-	1	9	-	-	-	-	-	12	-	4	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2
広島県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	2	-	2	-	2
山口県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	1	12	-	1	-	1
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	5	-	1	-	3
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2013年13週

	クリプトスボリジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		ジアルジア症		髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風しん症候群		梅毒		破傷風	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	3	39	-	52	16	309	-	13	-	2	-	3	16	230	3	19
北海道	-	-	-	-	-	1	-	7	-	1	-	-	-	-	-	8	-	1
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	1	2	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-	1	10	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	5	-	1
茨城県	-	-	-	1	-	2	-	5	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-
群馬県	-	-	1	1	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	2	1	3
埼玉県	-	-	-	1	-	-	1	11	-	1	-	-	-	-	1	5	-	-
千葉県	-	-	-	1	-	3	1	11	-	1	-	-	-	-	-	9	-	-
東京都	-	-	1	4	-	6	6	95	-	4	-	-	-	1	5	80	-	2
神奈川県	-	-	-	3	-	4	1	19	-	-	-	1	-	-	-	10	1	1
新潟県	-	-	-	-	-	2	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
石川県	-	-	-	2	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
福井県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	1	5	-	-	-	-	-	-	-	4	1	2
岐阜県	-	-	-	2	-	1	1	5	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
静岡県	-	-	-	1	-	1	-	13	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-
愛知県	-	-	-	4	-	3	-	13	-	-	-	-	-	1	-	9	-	-
三重県	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
滋賀県	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
大阪府	-	-	-	3	-	1	2	32	-	-	-	1	-	1	2	30	-	1
兵庫県	-	-	-	2	-	6	1	11	-	2	-	-	-	-	1	7	-	1
奈良県	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	3	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	1	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
広島県	-	-	-	-	-	1	-	12	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
山口県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	1	6	-	-
愛媛県	-	-	-	1	-	2	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	2	-	3	2	12	-	2	-	-	-	-	2	10	-	1
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
長崎県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	4	-	2
沖縄県	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別 2013年13週

	バンコマイシン耐性 黄色ブドウ球菌感染症		バンコマイシン耐性 腸球菌感染症		風しん		麻しん	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	22	375	2903	15	85
北海道	-	-	-	1	4	22	-	-
青森県	-	-	-	-	-	2	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	1	-	-
宮城県	-	-	-	-	2	4	-	-
秋田県	-	-	-	-	1	2	-	-
山形県	-	-	-	-	-	1	-	-
福島県	-	-	-	-	-	4	-	1
茨城県	-	-	-	1	-	43	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	13	-	-
群馬県	-	-	-	-	2	14	-	-
埼玉県	-	-	-	3	22	197	5	11
千葉県	-	-	-	-	29	228	1	9
東京都	-	-	-	4	111	1182	2	27
神奈川県	-	-	-	1	60	416	4	19
新潟県	-	-	-	-	1	10	-	-
富山県	-	-	-	-	-	4	-	-
石川県	-	-	-	-	1	3	-	-
福井県	-	-	-	-	-	1	-	-
山梨県	-	-	-	-	1	5	-	-
長野県	-	-	-	-	3	12	-	-
岐阜県	-	-	-	-	1	2	-	-
静岡県	-	-	-	-	4	42	-	-
愛知県	-	-	-	5	13	67	1	3
三重県	-	-	-	-	-	12	1	4
滋賀県	-	-	-	-	2	10	-	1
京都府	-	-	-	-	3	12	-	1
大阪府	-	-	-	4	39	223	1	5
兵庫県	-	-	-	-	42	178	-	2
奈良県	-	-	-	-	1	11	-	-
和歌山県	-	-	-	-	1	5	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	1	-	-
岡山県	-	-	-	-	1	12	-	-
広島県	-	-	-	-	4	13	-	-
山口県	-	-	-	-	-	1	-	-
徳島県	-	-	-	-	1	2	-	-
香川県	-	-	-	-	1	6	-	-
愛媛県	-	-	-	-	1	6	-	1
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	2	7	30	-	1
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	1	2	-	-
熊本県	-	-	-	1	3	21	-	-
大分県	-	-	-	-	-	11	-	-
宮崎県	-	-	-	-	1	7	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	12	62	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	3	-	-

*鳥インフルエンザを除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2013年13週

	インフルエンザ*		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん	
	報告数	定点当り	報告数	報告数	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	21546	4.38	741	917	0.29	5308	1.69	25151	8.00	3696	1.18	537	0.17	154	0.05	1604	0.51	
北海道	392	1.73	46	62	0.43	397	2.78	529	3.70	182	1.27	1	0.01	6	0.04	51	0.36	
青森県	173	2.70	3	6	0.15	45	1.10	217	5.29	37	0.90	-	-	-	-	15	0.37	
岩手県	265	4.14	-	5	0.13	56	1.40	192	4.80	36	0.90	-	-	7	0.18	18	0.45	
宮城県	205	2.20	7	22	0.38	136	2.34	445	7.67	67	1.16	6	0.10	6	0.10	35	0.60	
秋田県	416	7.56	4	5	0.14	35	1.00	198	5.66	18	0.51	3	0.09	1	0.03	11	0.31	
山形県	87	1.85	7	17	0.57	80	2.67	279	9.30	33	1.10	9	0.30	1	0.03	13	0.43	
福島県	227	2.99	8	7	0.16	96	2.13	268	5.96	44	0.98	6	0.13	3	0.07	20	0.44	
茨城県	165	1.38	3	20	0.27	106	1.41	690	9.20	102	1.36	10	0.13	6	0.08	20	0.27	
栃木県	77	1.03	1	4	0.09	68	1.45	270	5.74	54	1.15	2	0.04	-	-	18	0.38	
群馬県	262	2.67	3	8	0.13	86	1.43	726	12.10	42	0.70	3	0.05	3	0.05	24	0.40	
埼玉県	408	1.71	17	30	0.20	292	1.92	1586	10.43	167	1.10	15	0.10	3	0.02	92	0.61	
千葉県	250	1.20	20	55	0.42	346	2.62	1007	7.63	174	1.32	41	0.31	6	0.05	83	0.63	
東京都	423	1.02	46	66	0.25	568	2.18	2247	8.64	178	0.68	19	0.07	20	0.08	158	0.61	
神奈川県	544	1.67	12	40	0.20	301	1.48	1514	7.42	204	1.00	10	0.05	9	0.04	135	0.66	
新潟県	319	3.36	12	17	0.28	221	3.68	443	7.38	66	1.10	39	0.65	19	0.32	33	0.55	
富山県	312	6.50	5	19	0.66	119	4.10	217	7.48	34	1.17	8	0.28	7	0.24	11	0.38	
石川県	643	13.40	3	5	0.17	143	4.93	168	5.79	37	1.28	8	0.28	1	0.03	14	0.48	
福井県	326	10.19	7	7	0.32	90	4.09	280	12.73	28	1.27	-	-	-	-	9	0.41	
山梨県	230	5.75	2	5	0.21	53	2.21	188	7.83	21	0.88	-	-	1	0.04	11	0.46	
長野県	374	4.30	10	7	0.13	105	1.94	502	9.30	54	1.00	7	0.13	-	-	22	0.41	
岐阜県	856	9.84	4	16	0.30	47	0.89	316	5.96	47	0.89	9	0.17	-	-	17	0.32	
静岡県	711	5.12	30	25	0.28	100	1.12	612	6.88	97	1.09	8	0.09	2	0.02	53	0.60	
愛知県	2170	11.13	41	37	0.20	138	0.76	1392	7.69	146	0.81	17	0.09	8	0.04	81	0.45	
三重県	763	10.60	17	18	0.40	50	1.11	448	9.96	49	1.09	4	0.09	2	0.04	22	0.49	
滋賀県	401	7.57	2	8	0.25	41	1.28	210	6.56	36	1.13	8	0.25	-	-	13	0.41	
京都府	573	4.70	7	8	0.11	93	1.26	376	5.08	50	0.68	7	0.09	3	0.04	18	0.24	
大阪府	1170	3.79	60	44	0.22	268	1.34	1534	7.67	187	0.94	27	0.14	5	0.03	106	0.53	
兵庫県	852	4.28	13	51	0.40	116	0.90	1272	9.86	147	1.14	5	0.04	6	0.05	48	0.37	
奈良県	185	3.36	5	12	0.34	19	0.54	228	6.51	23	0.66	-	-	1	0.03	11	0.31	
和歌山県	324	6.48	6	1	0.03	18	0.58	123	3.97	31	1.00	-	-	1	0.03	18	0.58	
鳥取県	220	7.59	5	-	-	67	3.53	151	7.95	21	1.11	-	-	-	-	2	0.11	
島根県	269	7.08	6	2	0.09	19	0.83	324	14.09	44	1.91	18	0.78	-	-	11	0.48	
岡山県	472	5.62	7	8	0.15	35	0.65	495	9.17	63	1.17	9	0.17	2	0.04	22	0.41	
広島県	854	7.43	28	21	0.29	86	1.19	499	6.93	66	0.92	13	0.18	4	0.06	25	0.35	
山口県	730	10.74	19	8	0.17	156	3.32	434	9.23	122	2.60	7	0.15	2	0.04	34	0.72	
徳島県	228	6.00	1	2	0.09	22	0.96	200	8.70	14	0.61	-	-	1	0.04	11	0.48	
香川県	102	2.08	2	13	0.43	43	1.43	244	8.13	49	1.63	1	0.03	-	-	16	0.53	
愛媛県	273	4.48	8	5	0.14	50	1.35	360	9.73	52	1.41	1	0.03	4	0.11	28	0.76	
高知県	203	4.23	12	2	0.07	17	0.57	193	6.43	26	0.87	1	0.03	3	0.10	11	0.37	
福岡県	1099	5.55	89	87	0.73	242	2.02	1359	11.33	248	2.07	124	1.03	-	-	81	0.68	
佐賀県	171	4.38	7	19	0.83	25	1.09	164	7.13	56	2.43	10	0.43	1	0.04	18	0.78	
長崎県	243	3.47	5	23	0.52	37	0.84	228	5.18	51	1.16	12	0.27	-	-	26	0.59	
熊本県	569	7.11	17	14	0.28	66	1.32	526	10.52	104	2.08	5	0.10	5	0.10	40	0.80	
大分県	222	3.83	11	27	0.75	41	1.14	565	15.69	82	2.28	8	0.22	2	0.06	15	0.42	
宮崎県	680	11.53	37	28	0.78	89	2.47	361	10.03	128	3.56	3	0.08	1	0.03	36	1.00	
鹿児島県	873	9.39	54	25	0.45	59	1.07	495	9.00	120	2.18	7	0.13	1	0.02	35	0.64	
沖縄県	235	4.05	32	6	0.18	21	0.62	76	2.24	59	1.74	46	1.35	1	0.03	13	0.38	

*髄膜炎菌性髄膜炎は除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2013年13週

	百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎*		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	37	0.01	90	0.03	797	0.25	14	0.02	347	0.51	9	0.02	8	0.02	220	0.48	12	0.03
北海道	1	0.01	1	0.01	21	0.15	-	-	8	0.28	-	-	-	-	7	0.32	-	-
青森県	-	-	-	-	12	0.29	-	-	9	0.82	-	-	-	-	12	2.00	-	-
岩手県	-	-	1	0.03	28	0.70	-	-	3	0.23	-	-	-	-	12	0.63	1	0.05
宮城県	-	-	-	-	17	0.29	2	0.17	4	0.33	-	-	1	0.08	12	1.00	2	0.17
秋田県	-	-	-	-	33	0.94	-	-	1	0.14	-	-	-	-	10	1.25	-	-
山形県	-	-	-	-	28	0.93	-	-	2	0.25	-	-	-	-	8	0.80	-	-
福島県	1	0.02	-	-	21	0.47	-	-	4	0.33	-	-	-	-	4	0.57	-	-
茨城県	-	-	-	-	10	0.13	-	-	19	1.12	-	-	-	-	4	0.31	-	-
栃木県	1	0.02	-	-	12	0.26	-	-	13	1.08	-	-	-	-	2	0.29	1	0.14
群馬県	1	0.02	4	0.07	22	0.37	-	-	15	1.07	-	-	-	-	10	1.25	-	-
埼玉県	1	0.01	4	0.03	49	0.32	2	0.05	25	0.61	-	-	-	-	11	1.22	-	-
千葉県	2	0.02	6	0.05	43	0.33	1	0.03	11	0.34	-	-	-	-	7	0.78	2	0.22
東京都	2	0.01	2	0.01	36	0.14	-	-	21	0.55	-	-	2	0.08	7	0.29	1	0.04
神奈川県	1	0.00	2	0.01	55	0.27	-	-	37	0.84	1	0.14	-	-	1	0.14	-	-
新潟県	5	0.08	2	0.03	6	0.10	-	-	8	0.80	-	-	-	-	4	0.31	2	0.15
富山県	-	-	2	0.07	2	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	9	1.80	-	-
石川県	-	-	-	-	6	0.21	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.40	-	-
福井県	-	-	-	-	34	1.55	-	-	2	0.67	1	0.17	-	-	2	0.33	-	-
山梨県	-	-	1	0.04	-	-	-	-	5	0.56	-	-	-	-	1	0.10	-	-
長野県	-	-	1	0.02	3	0.06	-	-	6	0.55	-	-	-	-	7	0.64	-	-
岐阜県	-	-	-	-	22	0.42	-	-	1	0.09	-	-	-	-	1	0.20	-	-
静岡県	-	-	-	-	11	0.12	-	-	19	0.86	-	-	2	0.20	5	0.50	-	-
愛知県	2	0.01	-	-	51	0.28	-	-	9	0.26	-	-	-	-	11	0.85	-	-
三重県	-	-	-	-	17	0.38	-	-	3	0.25	1	0.11	-	-	1	0.11	-	-
滋賀県	-	-	1	0.03	5	0.16	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.29	-	-
京都府	1	0.01	-	-	17	0.23	-	-	6	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	1	0.01	11	0.06	15	0.08	-	-	12	0.23	2	0.12	-	-	6	0.35	1	0.06
兵庫県	5	0.04	4	0.03	7	0.05	2	0.06	14	0.40	-	-	-	-	6	0.55	1	0.09
奈良県	-	-	-	-	1	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.17	-	-
和歌山県	-	-	-	-	2	0.06	-	-	-	-	1	0.09	-	-	4	0.36	-	-
鳥取県	-	-	-	-	1	0.05	-	-	1	0.33	-	-	-	-	3	0.60	-	-
島根県	-	-	1	0.04	8	0.35	-	-	-	-	-	-	1	0.13	2	0.25	-	-
岡山県	-	-	-	-	1	0.02	-	-	5	0.42	-	-	-	-	1	0.20	-	-
広島県	-	-	-	-	16	0.22	-	-	14	0.74	-	-	-	-	2	0.10	-	-
山口県	-	-	4	0.09	6	0.13	-	-	2	0.22	-	-	-	-	2	0.22	-	-
徳島県	1	0.04	-	-	6	0.26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	3	0.10	1	0.33	2	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	1	0.03	-	-	11	0.30	1	0.13	9	1.13	-	-	-	-	1	0.17	-	-
高知県	2	0.07	-	-	2	0.07	-	-	-	-	1	0.13	-	-	5	0.63	-	-
福岡県	4	0.03	3	0.03	54	0.45	-	-	8	0.31	-	-	1	0.07	-	-	-	-
佐賀県	-	-	6	0.26	22	0.96	-	-	-	-	-	-	-	-	8	1.33	-	-
長崎県	2	0.05	23	0.52	22	0.50	4	0.50	6	0.75	-	-	-	-	4	0.33	-	-
熊本県	-	-	3	0.06	6	0.12	-	-	9	1.00	-	-	1	0.07	1	0.07	-	-
大分県	3	0.08	2	0.06	14	0.39	-	-	-	-	-	-	-	-	8	0.73	-	-
宮崎県	-	-	1	0.03	12	0.33	-	-	9	1.50	1	0.14	-	-	2	0.29	-	-
鹿児島県	-	-	2	0.04	19	0.35	-	-	10	1.43	-	-	-	-	4	0.33	-	-
沖縄県	-	-	3	0.09	8	0.24	1	0.10	15	1.50	1	0.14	-	-	8	1.14	1	0.14

報告数・疾病・都道府県別
 2013年13週

	インフルエンザ (入院患者)
	報告数
総 数	193
北海道	4
青森県	4
岩手県	8
宮城県	1
秋田県	20
山形県	2
福島県	6
茨城県	1
栃木県	2
群馬県	5
埼玉県	-
千葉県	2
東京都	2
神奈川県	2
新潟県	6
富山県	3
石川県	4
福井県	3
山梨県	6
長野県	9
岐阜県	3
静岡県	2
愛知県	19
三重県	1
滋賀県	7
京都府	3
大阪府	8
兵庫県	4
奈良県	1
和歌山県	2
鳥取県	7
島根県	9
岡山県	4
広島県	9
山口県	-
徳島県	4
香川県	-
愛媛県	1
高知県	1
福岡県	2
佐賀県	2
長崎県	1
熊本県	8
大分県	1
宮崎県	1
鹿児島県	-
沖縄県	3

獣医師が届出を行う感染症と対象動物

注 報告数は感染実験等の学術的研究による発生を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2013年13週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群(SARS)						結核		鳥インフルエンザ(H5N1)		細菌性赤痢	
	サル		サル		プレーリードッグ	イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		鳥類		サル		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別 2013年13週

	ウエストナイル熱		エキノコックス症	
	鳥類		犬	
	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-

感染症週報 第15巻 第13号 2013年4月12日発行
 発行：国立感染症研究所
 厚生労働省健康局結核感染症課
 厚生労働省大臣官房統計情報部
 事務局：国立感染症研究所感染症疫学センター
 〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
 T E L : 03-5285-1111
 F A X : 03-5285-1129
 U R L : <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>
 < 国立感染症研究所 感染症疫学センター >
<http://www.mhlw.go.jp/>
 < 厚生労働省 >
<http://www.forth.go.jp/>
 < 旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所) >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症疫学センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。